

モントリオールの日本語センター

2017 - 2018 児童・中高等部



モントリオールの日本語センター

Le centre de la langue japonaise de montreal

2017年－2018年 児童部・中高等部 文集目次

運営委員長 挨拶	… 4	児童1 秋山先生 クラス写真	… 39	竹内 美蘭	… 80
役員 挨拶	… 5	担任 秋山 知世	… 40	蓮見華愛	… 81
		イングラム ケンゾウ	… 41		
<児童部>		土居 匠	… 42	児童4 クラス写真	… 82
はなび クラス写真	… 7	倭ペリル 蒔弥	… 43	担任 渡辺 志津香	… 83
担任 高田健人	… 8	扇谷 紗奈	… 44	ウドン テオ	… 84
ボルク 空	… 9	大竹 葵	… 45	笠井 健治	… 86
ポウ 麗名	… 10	遠藤 レニー	… 46	ニシハタ 脩	… 87
浦田 咲菜	… 11	門脇オリヴィエ 真愛	… 47	ムレイティ 俊青	… 89
森岡 優哉	… 12	ダルグリッシュ 悠杏	… 48	水野 真椰	… 91
小久保 成美	… 13	山田 小雪	… 49	江本 彩夏	… 93
山田 ノア隆斗	… 14	栗原 悠隼	… 50	笠井 由貴	… 95
ラジョワ ケイラ マユミ	… 15			土居 健人	… 97
浦田 真弥	… 16	児童2 クラス写真	… 51	中野 連太郎	… 99
佐藤 秀実	… 17	担任 山本 智絵	… 52	樋口 直輝	… 101
		中野 順	… 53	中村 楓	… 103
児童1 荻津先生 クラス写真	… 18	水野 雄悟	… 55		
担任 荻津耀廣	… 19	阿部 魁人	… 56	児童5 クラス写真	… 105
高島 神	… 20	パーペ まや	… 57	担任 木下 直子	… 106
チフォー なおき	… 21	征矢 麗菜	… 60	スアレス 薫メグ	… 108
ウドラフ ミナ	… 22	藁田 ニコル	… 61	チャペル フランツ	… 109
佐藤 直美ロッシーナ	… 23	ハンマード 彩	… 62	山城 鈴蘭	… 110
樋口 珀	… 24	稗田 雄瑛	… 64	ライダー 想良	… 111
上谷 拓未	… 25	佐藤 龍斗	… 65	松井 リブ	… 112
堂園 恵理	… 26	小松勇大	… 66	扇谷 玲良	… 113
		榊原暁人	… 67	榊原 茉里奈	… 114
児童1 小山先生 クラス写真	… 27	児童3 クラス写真	… 68	児童6 クラス写真	… 115
担任 小山 明子	… 28	担任 橋口 麗華	… 69	担任 江本 昌子	… 116
ソープ リチャード旭仁	… 29	ニシハタ 香子	… 70	秋山 沙羅	… 117
竹内 璃央奈	… 30	清原 蒔輝	… 71	江本 想里夢	… 119
マネラ 冴矢	… 31	ファラハット 夢源	… 72	小野 恵真	… 120
中山 りら	… 32	石川 大貴	… 73	瀧野 七海	… 122
李マーチー 百合亜	… 33	ウドラフ ウィリアム	… 74	樋口 大貴	… 124
黄 提陞	… 34	山城 藍璃	… 75	宮崎シャブロー 勇輝	… 125
河西 あまね	… 35	梅山 夏夜	… 76	山本 理央	… 126
ファラハット 夢愛	… 36	チャペルタイン	… 77	サーファロフ 渡洋	… 127
グラトン ミカエル	… 37	川島 さつき	… 78		
和田テオ	… 38	ルキマ イヴァン	… 79		

2017年－2018年 児童部・中高等部 文集目次

<中高等部>

中高等1 クラス写真	… 129
担任 松田 智子	… 130
ルキマ アスティン	… 133
秋山 勉	… 135
岩本 晃雄	… 137
傳 麻耶	… 138
山本 大	… 140
ムレイティ 遼真	… 142

中高等2 クラス写真	… 144
担任 有元 明子	… 145
ブファー 直美	… 147
マイアス 伊藤 弓	… 148
ムレイティ 龍耶	… 151
山城 丈恵琉	… 153
土屋 玲愛	… 155
ラッチマン 瑛美	… 157
鈴木 カミーロ	… 158
駒井 空	… 159
小林 百合子	… 161
沼野 友美	… 164
大谷 実蘭	… 165

<行事写真>

子供の日	… 166
運動会	… 167
書初め	… 168
節分	… 169

役員後記

皆のためにお仕事をしてくださっている文集係さんには大変申し訳ありませんが、私は9年余り日本語センターに娘を連れて来ていますが、文集にセンター長の挨拶が載っている事を知りませんでした。そういう親御さんは私だけでは無いと思います。(これを書くにあたって未だに読んでません、)

私は挨拶というものは聞いていただけ人の為に、文章は確実に読んでもらう人のために書くという非常に合理的な考えの持ち主ですので、一年間通して一緒に仕事をしたメンバーに感謝の意味を込めて書くことにしました。

副委員長 ポウ

常に必要なデータ、名簿、リスト等誰よりも早く、完璧に準備していたのは彼女で、まさになくてはならない存在でした。

教科書リスト、イベントの座席表等はすべて彼女の仕事です。

メインの仕事である成人クラスは実質一人で完璧にきりもりし、そしてもちろん！宴会部長としていつも役員内のコミュニケーションの場を作ってくれてありがとう。

副委員長 森

女子に囲まれつつ何の違和感もなかった熊本県民くまもん。

忙しい本業の合間をぬっては先生、アシスタント、新入生、ボランティアと絶妙な調整を見せてくれました。常に温度差を気にする繊細な心の持ち主であり、それゆえ先生方から頼りにされる存在であったのだと思います。

会計 竹内

整然と整理されたファイルを持ち歩き、無駄のない動きは見えて学ぶところの多い人です。仕事スピードが速いし、小久保と共に会計はすべてお任せできたので、他のメンバーも安心して各自の仕事ができていたのではないかと思います。

会計 小久保

人の見落としがちな所にいち早く気がつき、すぐに指摘してくれるかけがえのない存在でした。持ち前の明るさと歯に絹きせぬ発言は、役員業務をいつも面白くしてくれました。来年もパワーアップ期待しています。

保護代 石川

彼女は実質的なリーダーで、全体行事がある度に仕事のリストアップ、メンバーの役割分担を率先してやってくれたので、すべての行事が滞りなく執行されたのはまさに彼女のお陰です。緻密な計画をありがとう。
本当に感謝してます！！(全員)

保護代山田

いつも笑顔で、保護者、行事係りをそつなくまとめていた彼女は、とても心配りのできる人です。どんな発言もやさしく受けてとめてくれる姿勢は、話し合いで安心して本音を言いあえる雰囲気を作ってくれました。

最後に、私スアレスはといえば、センターにできた最大の貢献といえば、委員長に立候補した事で、この素晴らしいメンバーを集めることが出来たことでしょうか。

私が役員を始めるにあたっての目標は、やりたくないナンバーワンの仕事、重苦しい保護者会のイメージアップでしたが、自己評価ですが達成されたと思います。現に、7名中4名が継続という形になりました。

また、この信頼できるメンバーと一年間役員が出来たことをとても光栄に思うと共に、大変意義のある一年でした。役員をやつていなければ話す機会がなかった人々から新しいアイデアをもらったり、興味深いお話を聞いたりもできました。それになによりも、とても楽しく、充実した一年でした。

最後になりましたが、保護者の皆様からのご協力、励ましや暖かいご感想を頂きとても感謝しております。ありがとうございました。

運営委員長

スアレス マリコ

2017-2018 モントリオール日本語センター役員

全く分からない状況から保護者代表を務め、不安を取り除いてくれた役員メンバー、OB役員さんに感謝の気持ちで一杯です。役員業務を通して色々学び充実した日々でした。又、沢山の保護者の方々、先生たちと出会い励ましのお言葉を頂きありがとうございました。これからも子供たちの元気で明るい声が聞けるセンターであるといいですね！

保護者代表 山田 絵里子



今回はじめてセンターの運営に携わり、改めてたくさんの方々のご協力があったこそだと実感しています。これから微力ながらも、一保護者としてお手伝いできればと思います。
あっという間の1年でしたが、充実した楽しい時間を過ごすことができ、役員メンバーには心から感謝しています。
ありがとうございました。

保護者代表 石川 恭子

あっという間の一年でした。役員の一員として会計を担当させて頂き、センターは、異国の地で育っていく子供たちの為に保護者全員が作り上げている所だと改めて頼もしく思いました。また保護者の方々となかなかお近付きになれてうれしく思っております。ありがとうございました。来年も宜しくお祈りします。

会計 竹内 輝実

適材適所、以心伝心、そんな日本人の長所がすっぽりハマるチームに恵まれ、貴重な体験ができました。

みんな、こんな私に構ってくれてありがとう。

会計 小久保 香奈

初めて運営に携わり、『各保護者が子供達のために尽力する事で、日本語センターが長く継続されている』と言う事を身をもって体験させて頂けた事が、この1年間の私の大きな収穫です。先生方を初め、各担当を全うされた皆さん、そしてその一瞬を共に疾走した他のメンバーにも、深く感謝申し上げます。

副運営委員長 森 一英

委員長のスアレスさんを中心に前向きで明るい仲間に恵まれ、チームとして役員業務を進めることが出来ました。みなさまに心から感謝いたします。

近年はセンターの規模が大きくなるとともに、そのニーズも多様化してきてはいますが、これからもセンターが活動を支える保護者の思いが生かされた、温かな教育と交流の場であり続けることを願っています。

副運営委員長 ボウ 料子

兒童部





はなび 高田健人先生



今年から日本語センターで新設はなびクラスを承ることになった**高田健人**です。

日本語センターに出会ったのがちょうど一年前でした。何から何まで新しく、楽しく、難しく、とても良い経験をさせていただきました。でも何と言っても、この仕事をやりがいのあるものにしてくれたのは児童たちの好奇心と頑張りでした。そしてはなびクラスは周りの方々のサポートなしでは不可能なチャレンジでした。保護者の方々、役員の方々、先生方、本当に有難うございました。未熟者ですが、これからもよろしく願います。

さて、記念すべき第一回はなびクラスの文集テーマは『せかい一のはなび』です。

先生の^{せんせい}世界^{せ かい}一^{いち}の花^{はな}火^びは、はなびクラス^{はなび}のみんな^{みんな}がキラキラ^{きら ちら}輝^{かが}いて立^り派^{っぱ}な大人^{おとな}になってゆ^すが^が姿^うが映^つだ^だ出^でされた^{はなび}花^{はな}火^びです。と^とつ^つても大^{だい}きく^くて、夢^{ゆめ}で溢^{あふ}れていま^{いま}す。楽^{たの}しい一^{いち}年^{ねん}をあ^ありが^がた^たう！こ^これか^から^らも日^に本^{ほん}語^ごを頑^{がん}張^ぱろう！

はなび担任 高田



		は	い	と	キ	は	
		よ	ま	も	ラ	せ	
		し	す	だ	し	お	が
		ご	ち	こ	お	い	
		す	み	が	り	ま	ー
		ん	た	ま	く	の	
		た	く	す	て	は	
		き	さ	お	キ	な	
		な	ん	お	ラ	び	

だい

せ
か
い
ー
の
は
な
び

なまえ

ボ
ル
ク
ミ
ら



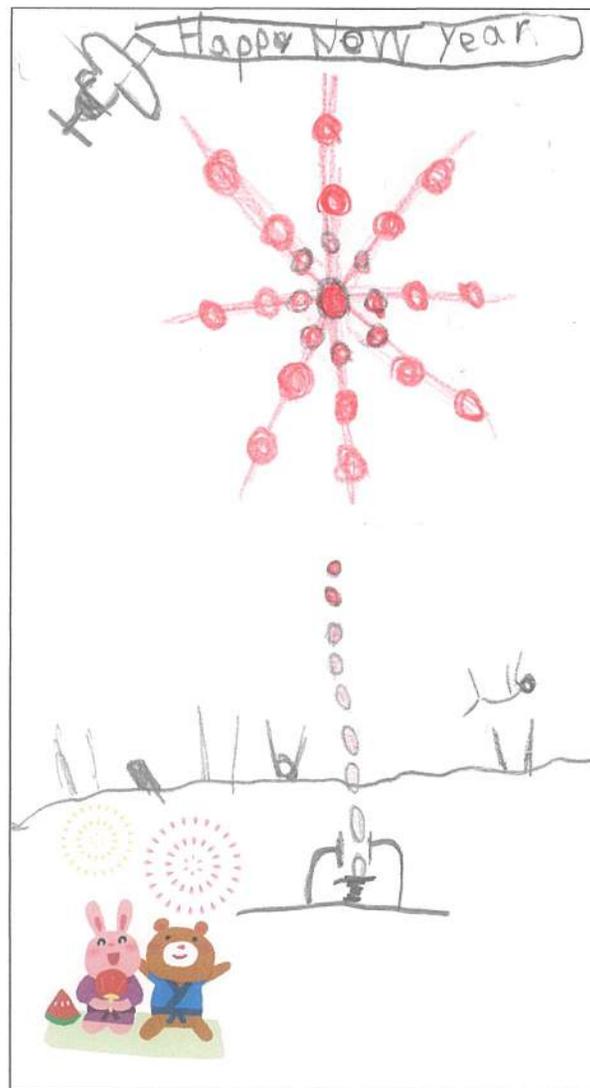
い	い	は	は	わ
こ	ハ	か	ル	た
こ	ー	ら	ー	↓
ろ	ト	で	ト	は
た	ま	す	は	す
か	、	、	、	ハ
ら	か	か	、	い
で	さ	わ	ト	ー
す	し	い	の	の

だい

せ
か
い
ー
の
は
な
び

なまえ

う
ら
た
さ
が



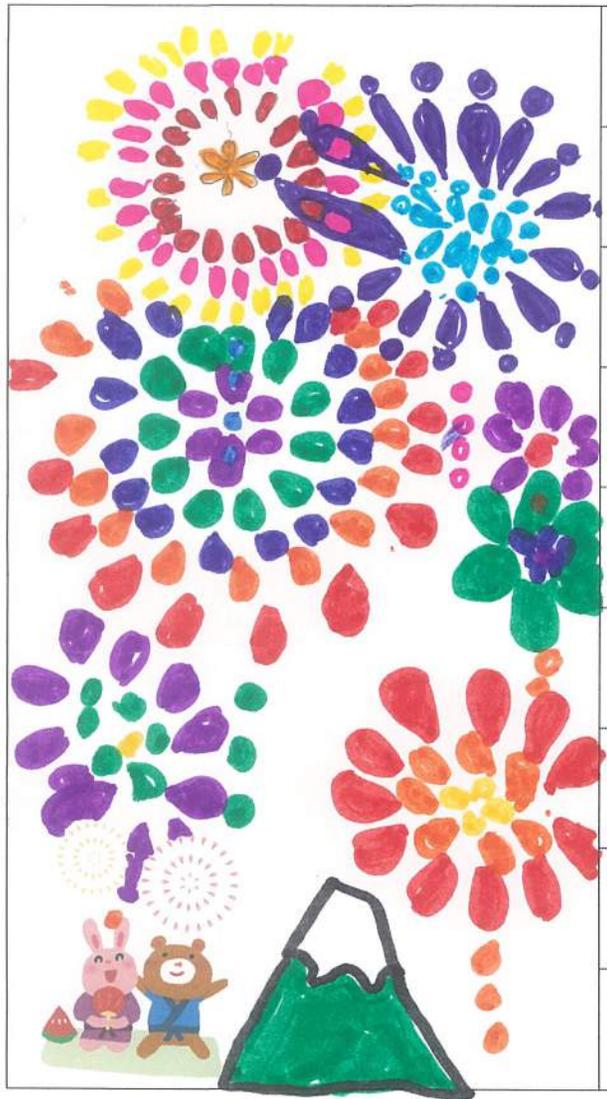
あ	て	か	こ	て	の	び	ほ
る	も	あ	ろ	い	ほ	は	く
。	き	れ	の	る	し	な	に
	っ	ば	な	よ	が	ん	と
	と	か	う	は	び		
	せ	な	に	で	く	や	て
	い	に	は	す	は	く	
	こ	を	な		つ	ま	は
	う	し	び	こ	し	ん	な

だい

せ
か
い
ー
の
は
な
び

なまえ

ゆ
う
や



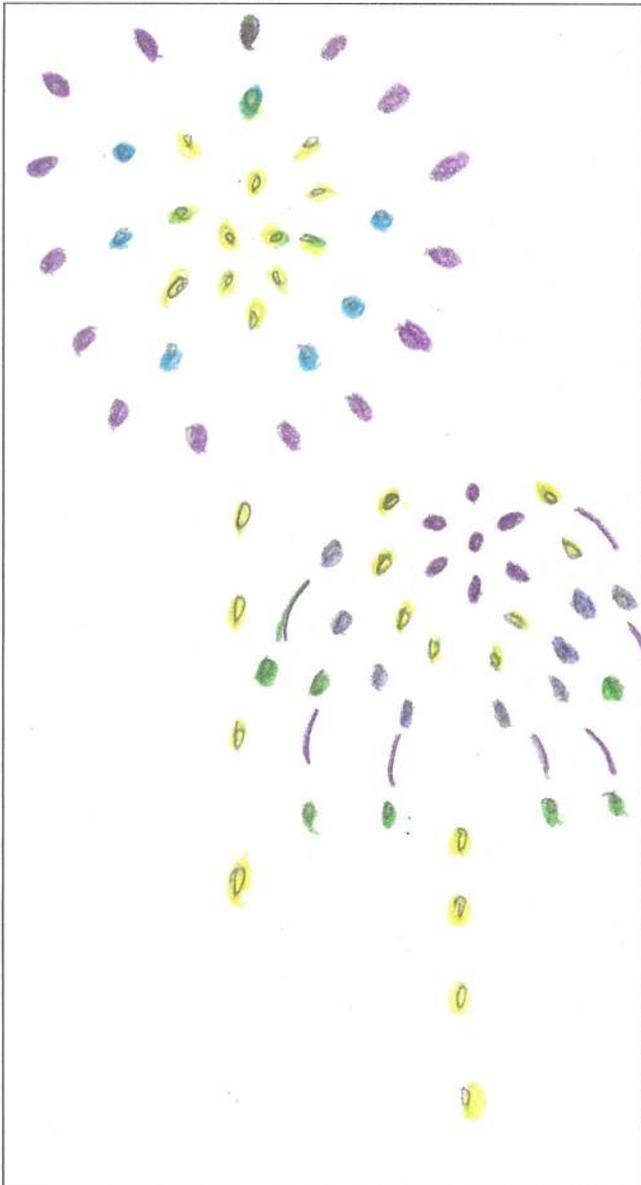
ご	ご	ー	す	さ	こ	こ	
す	セ	の	。	す	ろ	ろ	は
。	ん	は	わ	ぎ	で	は	な
	た	な	た	る	す		び
	ー	び	し	の	。	き	の
	の	は	の	は	ご	れ	す
	は		せ	い	も	い	き
	な	日	か	や	う	な	な
	び	本	い	ご	る	と	と

だい

せ
か
い
ー
の
は
な
び

なまえ

な
る
み



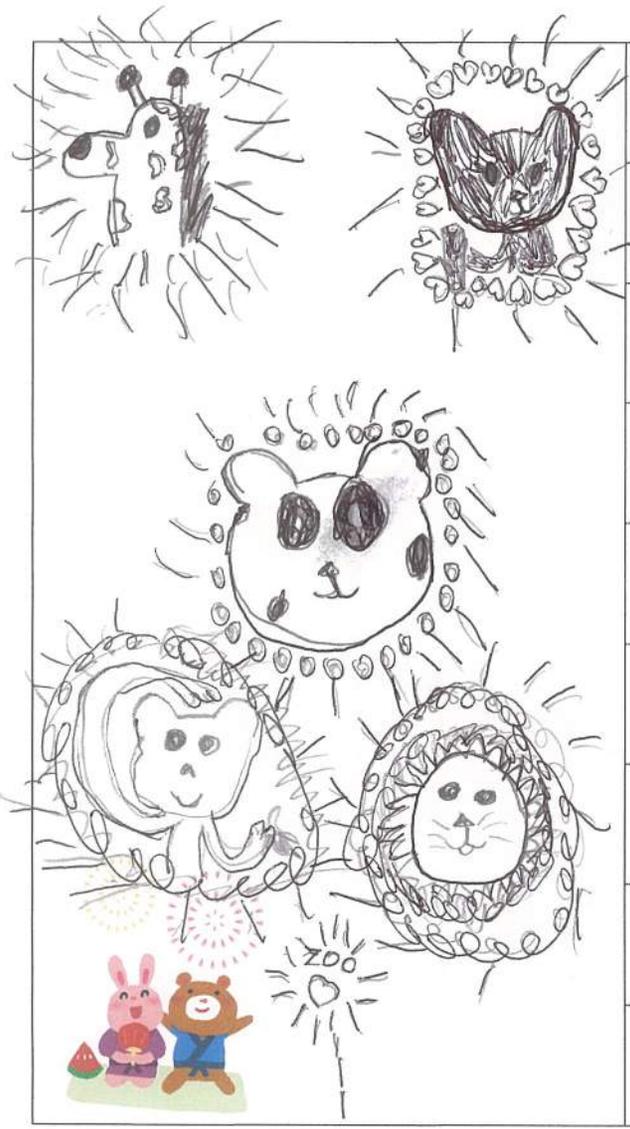
み	が	を	っ	い	む	お	ま
っ	い	み	こ	ら	ま	く	
け	ば	た	い	い	け	い	の
た	く	い	ろ	ろ	け	ろ	は
い	の	こ	い	な	こ	い	な
こ	は	す	ろ	く	す	み	び
す	な		な	い		こ	は
い	び	い	も	へ		り	い
い	を	っ	の	い		い	あ

だい

せ
か
い
ー
の
は
な
び

なまえ

の
あ



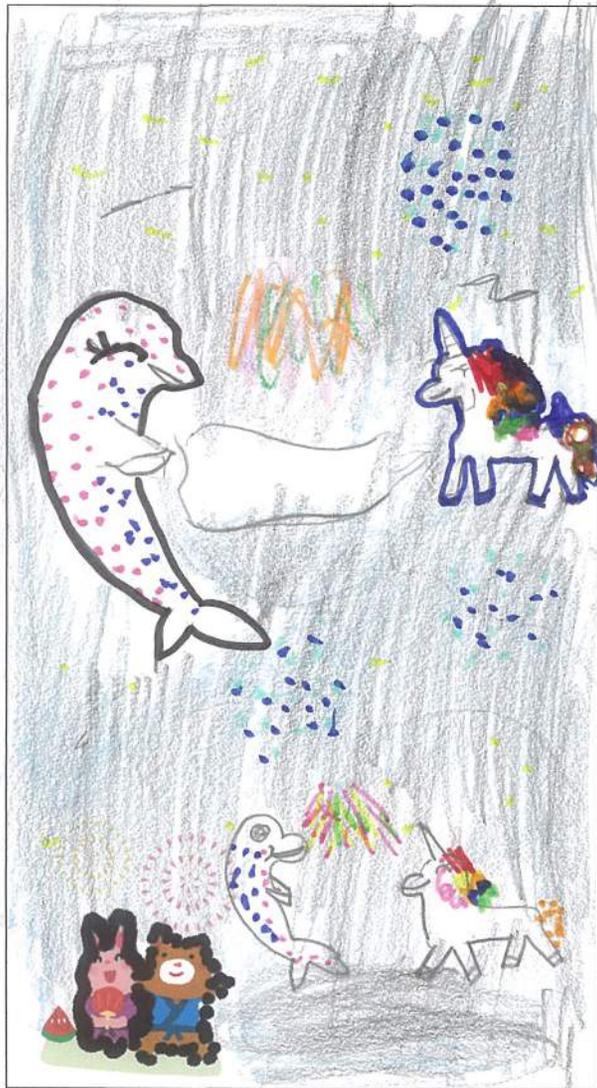
キ	パ	に	に	な	ぶ	が	あ
リ	ン	う	な	ど	う	大	た
ン	ダ	ち	っ	う	え	す	し
コ	さ	あ	て	ぶ	ん	き	は
ア	る	げ	、	つ	に	ご	、
ラ	ラ	ら	よ	が	い	す	ど
ゴ	イ	れ	る	は	る	。う	
す	オ	ま	の	な	よ	ど	ぶ
。	ン	す	空	び	う	う	つ

だい

せ
か
い
ー
の
は
な
び

なまえ

け
い
ら



三	す	コ	の	る	コ	は	あ
っ	〇	一	二	が	ニ	た	た
の	エ	ン	ひ	は	コ	び	し
玉	×	は	き	、	一	は	の
が	ラ	に	ご	青	ン	、	せ
と	ル	じ	す	と	ご	一	が
ひ	ド	い	〇	セ	す	る	い
ち	色	ろ	エ	ン	〇	が	一
り	の	ご	ニ	ワ	一	と	の

ます。

だい

せかいーのはなび

なまえ

うらた
まが

題

世界一のはなび

なまえ

たけし びつ



	む	で	と	ま	ア	の	
	か	し	こ	見	に	リ	去
		た	も	に		バ	年
	た	。	ま	行	か	ー	の
	で	ち	ね	ま	ぞ	サ	夏
	す	。	い	ま	く	イ	
		つ	な	し	で	ド	ロ
			と	花	た	花	パ
			さ	火	。	火	ン
					。	火	ゲ



児童部 | 荻津ヨウコウ先生

大きくなったら

児童一・担任 荻津耀廣

現在、二十四歳の私にとって「大きくなったら」と言うのは変な気もします。だから、少しだけ題を変えて「将来のこと」を書きたいと思います。

大学を卒業して、早二年。同級生たちは、社会人三年目の春を迎えようとしています。そんな中で、ちゃんとした仕事もしていない「私」は大丈夫なのか。もちろん、周りと比べて不安になるぐらいだったら、今ここにはいないでしょう。目標があって、それを叶えるためにしっかり頑張ってきた二年間です。本当にあつという間でした。

今の自分が将来に対して思うことは、親や家族への恩返しをしたいという事です。親にはたくさん心配や迷惑をかけさせました。何なら今もさせています。何が恩返しになるのかは、正直わかりません。「立派な社会人」になる事、「孫の顔を見せる」事…考えても、考えきれません。ずっと心に「親孝行」の気持ちをもち続けて、できる限りのことを返していきたいと思います。

	ま	う		で	が		が	
	す	き	た	す	く	た	が	お
		し	く		の	の	に	お
		た	さ		が	し	な	き
		い	ん		す	い	り	く
		と	れ		き	し	た	な
		お	ん		た		い	っ
		も	し		が	え	で	た
	い		ゆ		ら	を	す	ら

題

おおきくなったら
なまえ
たがしまじん



か	つ	な	た	タ	き	い	ほ
ざ	く	も	い	ー	く	す	く
り	っ	の	で	ビ	な	き	は
た	て	を	す	ル	っ	で	
い			。	ダ	た	す	レ
で	へ	レ		ー	ら	。	ゴ
す	や	ゴ	い	に			が
。	に	で	る	な	マ	お	
			ん	り	ス	お	だ

題

お
お
き
く
な
の
た
ら
ら
な
ま
え
な
お
お
き
。



		い	ど	い	の	た	
		で	も	ろ	せ	っ	わ
		す	た	い	ん	た	た
		。	ち	ろ	せ	ら	し
			に	た	い		は
			お	こ	に	が	
			し	と	た	っ	た
			へ	を	っ	こ	き
			た	子	て	う	く

題
 大
 き
 く
 た
 ら
 大
 き
 く
 た
 ら

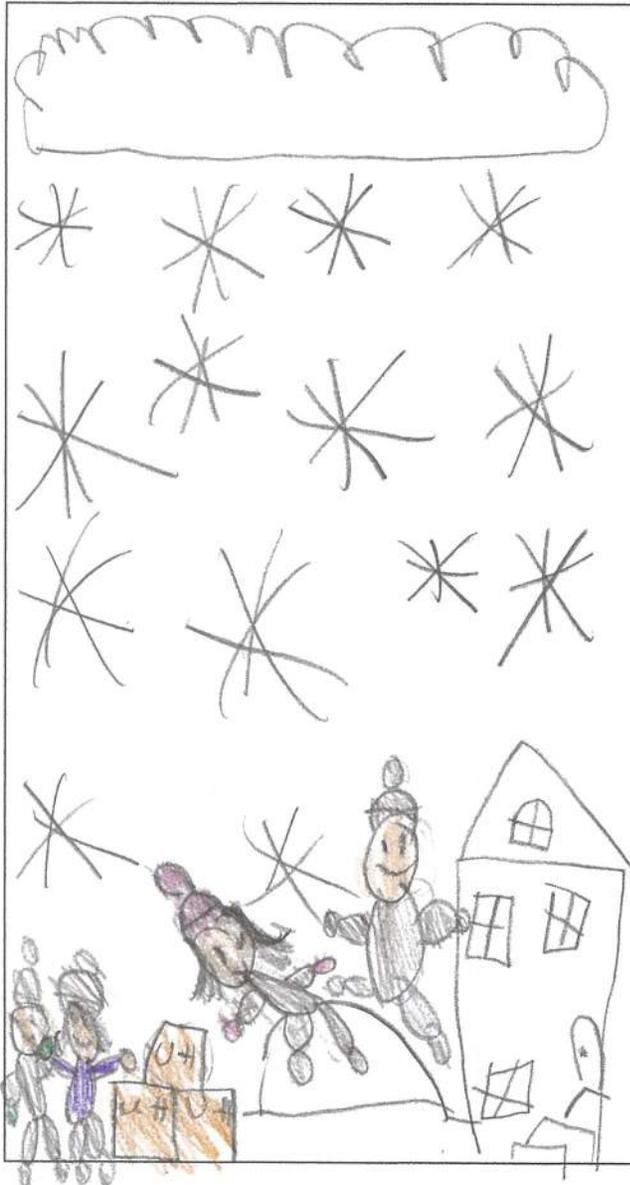
なまえ
 ウ
 ド
 ラ
 フ
 み
 な

題

ひっし

なまえ

さとう
なまえ



ね	わ	ま	。	ち	ナ	
こ	く	ま	じ	に	ム	っ
い	こ	し	ぶ	ひ	ー	ゆ
ま	お	た	ん	っ	ル	が
す	か	。	の	こ	と	す
。	あ	ご	へ	し	お	み
	さ	も	が	ま	り	に
	ん	。	が	し	の	。
	と	こ	ご	た	ら	う
						テ



	で	り	う	人		か	
	す		つ	を	け	ん	ぼ
		か	う	た	い	に	く
			せ	す	さ	な	は
		こ	い	け	つ	り	
		い	り	た	か	た	け
		い	を	り	ん	い	い
		が	し		は	で	さ
		ら	た	こ		す	つ

題
大きくなったら

なまえ
木通口 瑠



			つ	お	だ	な	お
			か	ぎ	わ	に	お
			る	く	が	を	さ
			と	な	り	し	く
			い	た	ま	た	な
			い	た	せ	い	っ
			な	ら	ん	が	た
							ら
				み	お	ま	

題

わ
か
ら
ら
な
い
な
ま
え
た
く
み



		が	校	ふ	い	っ	
		ら	を	く	き	た	わ
		で	た	を	た	ら	た
		す	い	き	い	日	し
			け	て	で	本	は
			ん	日	す	の	大
			し	本	の	高	き
			た	の	せ	校	く
			い	学	い	に	な

題
 いてみたいところ

なまえ
 堂園 恵理



の
モリ
よう
日び
二十
日どう

児童部 | 小山明子先生

今年度も楽しかった！

児童1 小山明子

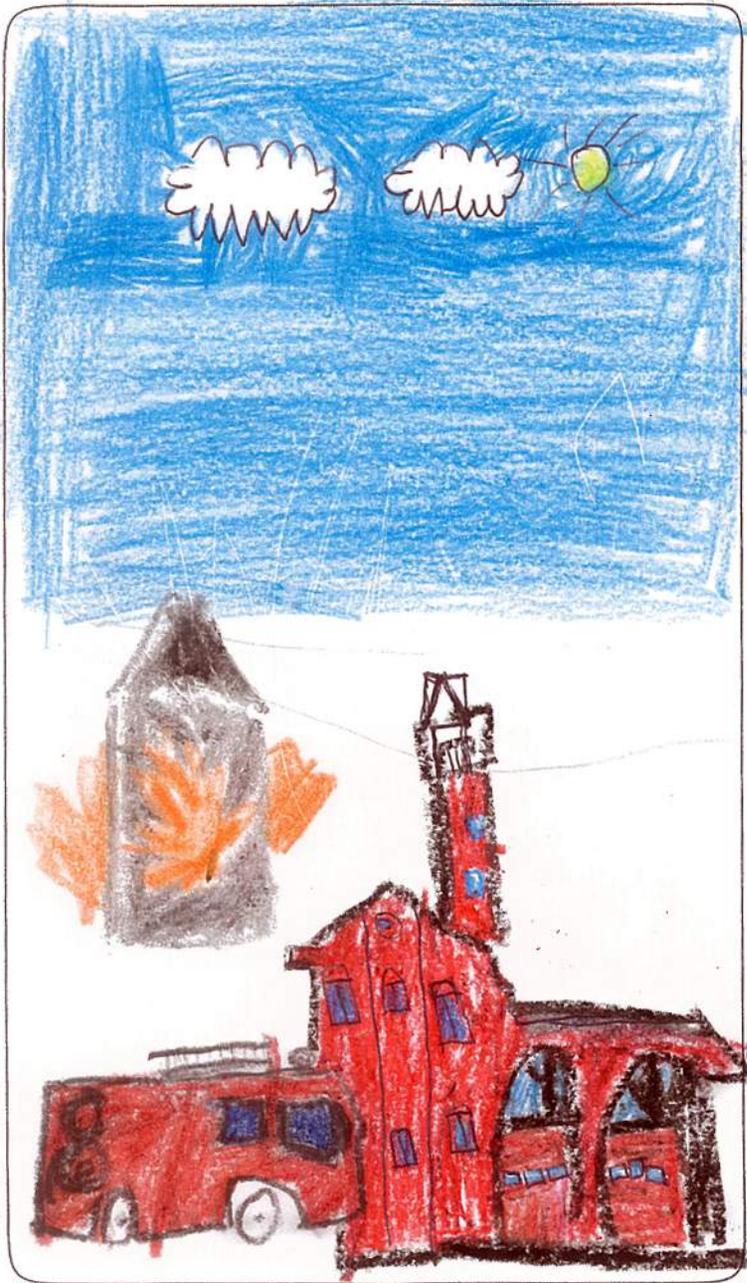
日本語センターで児童1の担任をするようになって今年度は6年目でした。毎年様々なキャラクターの子ともたちに出会うことができ楽しいのですが、今年度もとても楽しい一年を過ごすことができました。

1学期には、教室異臭問題が発生し、急遽教室が使えなくなり遠くの部屋に移動するということもありました。2学期の最後には、児童1の3クラス合同で「うどんつくり」をしました。今年度から児童1は3クラスになり、大人数でのうどんつくり大会は汗ばむくらいの熱気に包まれて、みんな一生懸命に作っていました。

クラスのお友達はみんな仲良くて、休憩時間にはかくれんぼをしたり、絵本を読んだりしていました。お片付けやプリントの配布なども積極的にしてくれる子が多くて、先生はいつも助けられていました。みんなありがとー！また、負けず嫌いの子が多く、テストやゲームなどでは、みんな一番を目指して一生懸命に頑張っていました。

最後になりましたが、保護者のみなさまには多大なる協力をしていただきありがとうございます。おかげで、クラスの全員の日本語が上達したと感じています。

児童2では、みんな離ればなれのクラスになってしまいましたが、いつまでも楽しく日本語をお勉強してほしいと思います。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

題
 おおきくなったら

なまえ
 あきし

おおきくなったら、
 しゃべりたくなりたい
 と思います。



題

おまきくたむたらう

なまえ

リよな

わたしはせうごころのことがたります。(x)
 であう。

おまきくたむたらうにいんがてい
 ひよつきのせうごころをたまけたい
 であう。



おののきくなったら

あはしはケーキがすきは

のてケーキがさんではたら

まこびです。

題

なまえ

×こが



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

題
おあきくはっ
たら
なまえ
なかやまり
ら

ようせいにな
そ
そ
らをとび
たいです。



題

大きくなったら

なまえ

李百合白亜

大きくなったら学校の先生になりたい
 いです。ママの子に日本語をおしえた
 いです。



題

おまきくおあし

なまえ

たどしん

ほくはまおまきくおあしはたらしシエフに
なりたびです。

ホンコンりよつりをつくるシエフです。
さかなをフガ。たりよつりをつくりた
びです。

そして、おまきくおあしはたらしシエフをもち
たびです。



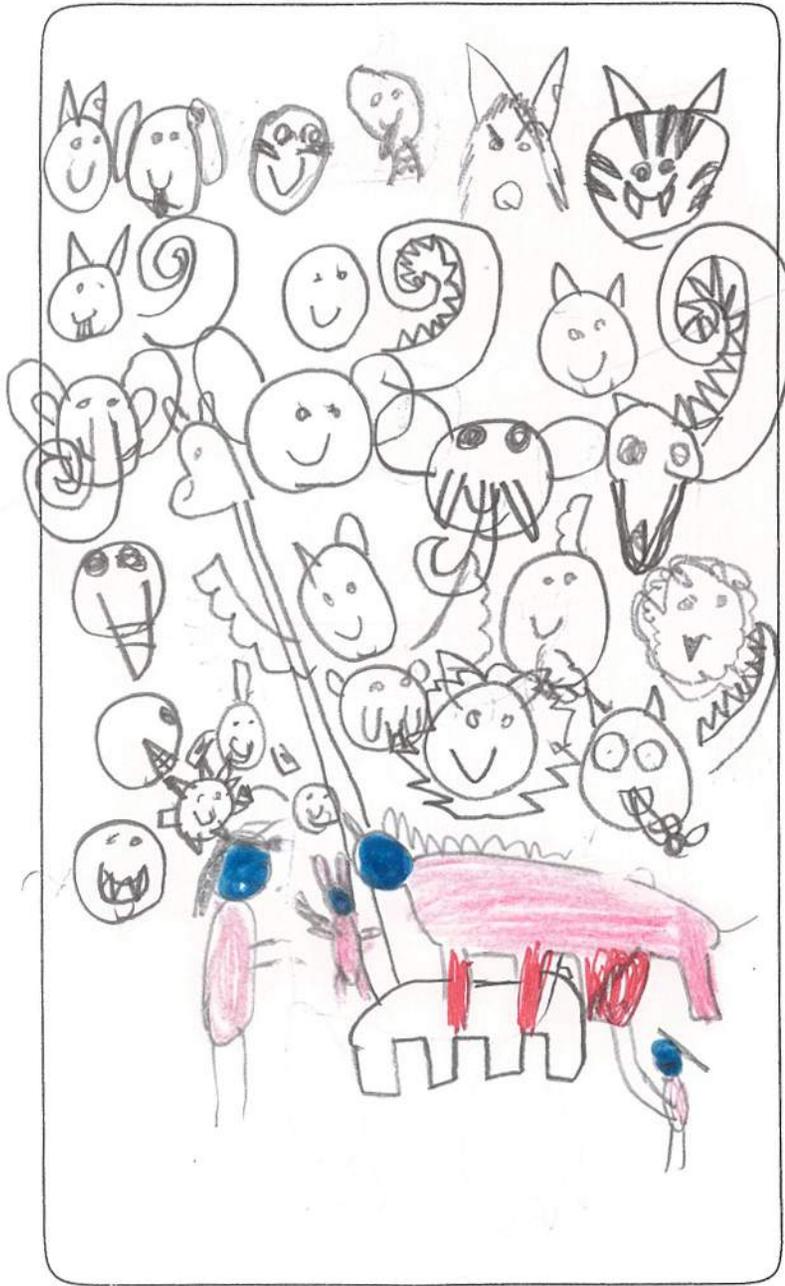
おおきくなったりようせいになりたいです。
スライムのようなせいになりたいです。
ピンクのスライムをつかって、いろん
なものをひづりたいです。はながあまるので、
そらをとげます。

題

おおきくなったり

なまえ

ままね



題

おぼきくなたら

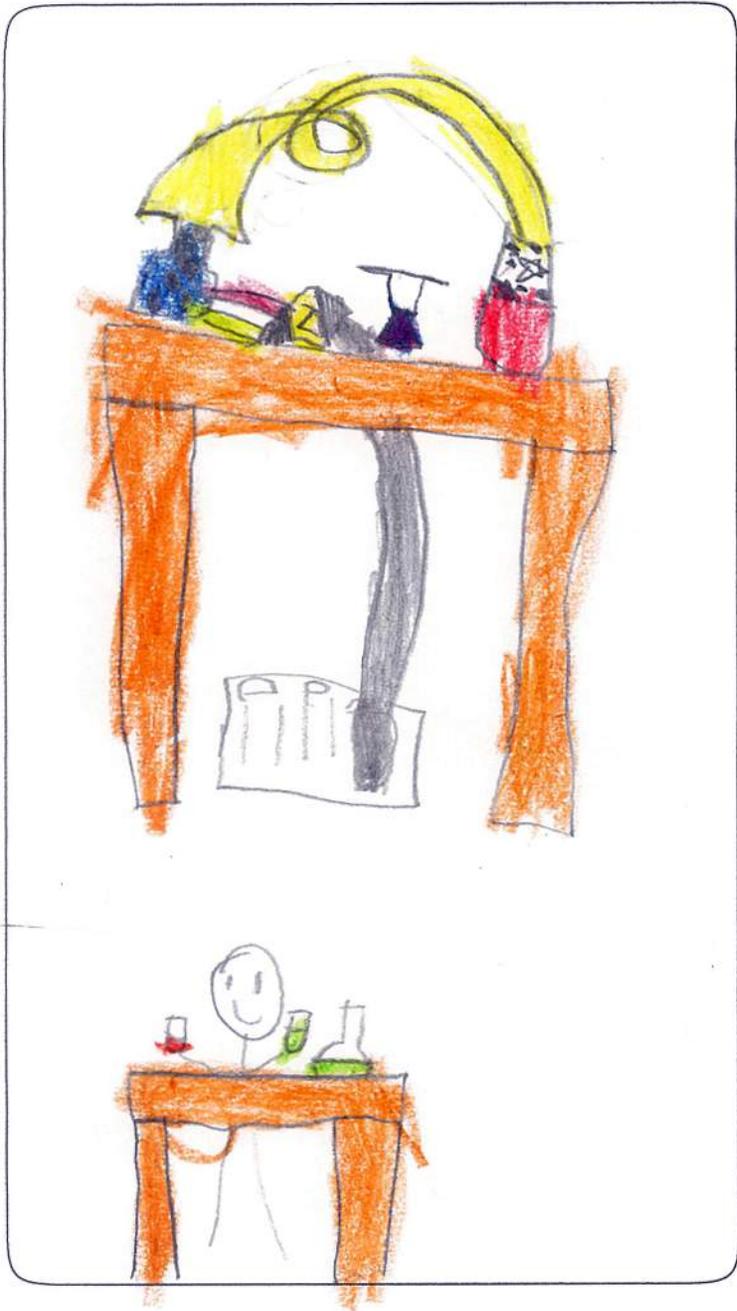
なまえ

ゆめあ

おぼきくなたら

おぼきくなたら、さくらんぼが大好きです。

ゆめあはさくらんぼが大好きです。よろしくです。



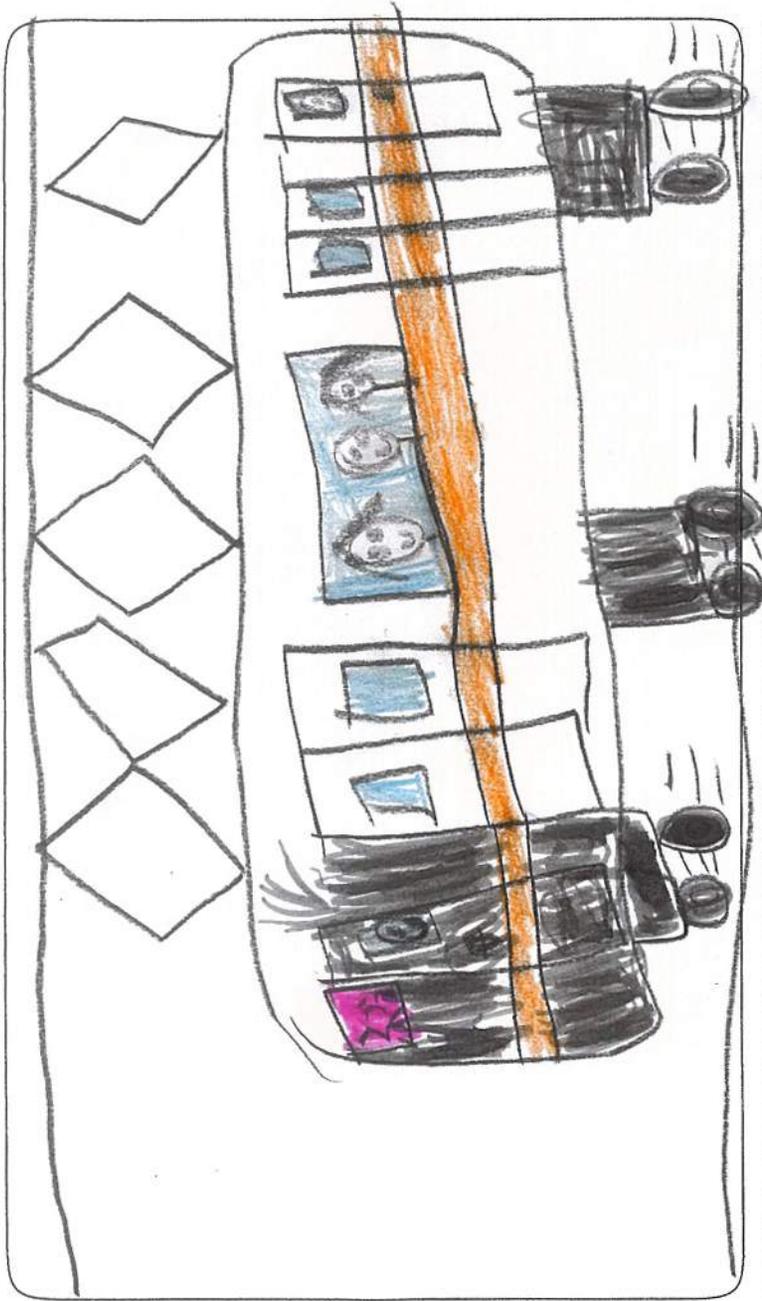
題

おあましくたのむ

なまえ

あかえ

かがくゆいあましくたのむ。りるりるためりるあましくたのむ。あたらしくりるあましくたのむ。



題
 おおきくなったら
 なまえ
 わたてお。
 ほくはおおきくなったら
 只のつんでんしになる。
 のがゆめです。



児童部 | 秋山知世先生

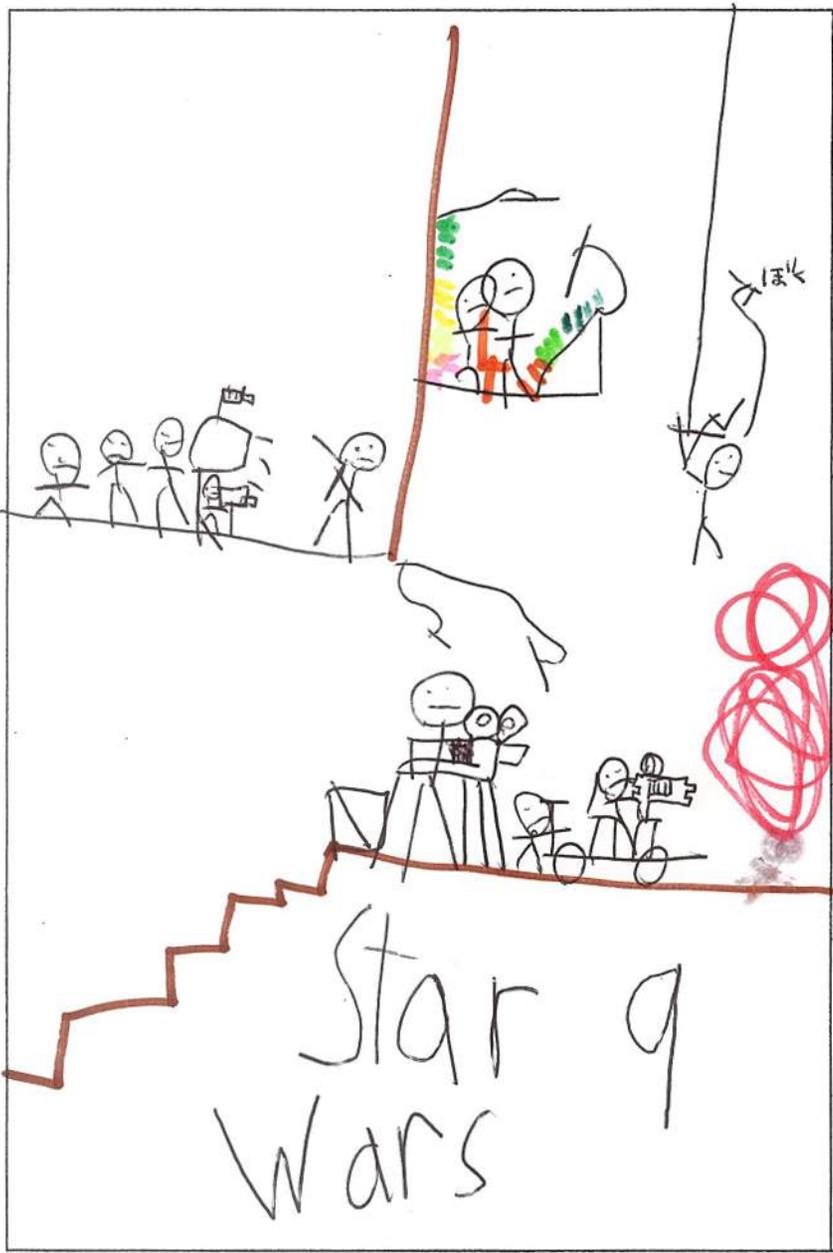
毎年、文集を読むのを楽しみにしています。小さな抽象画家さんの作品から始まり、幼児部終了時にはひらがなを綴り、児童部低学年では短い文をつなげた作文の形となり、高学年になってくると少し複雑な説明文なども書けるようになっていきます。そして、中高等部になるとあまり親の助けも借りず、間違いはあっても自分の考えをまとめるようになります。それを一気に見ると、子供の学ぶ姿勢と積み重ねることの大切さを思わずにはいられません。「継続は力なり」とは、このことですね。

児童一・秋山組は男女五人ずつの十人。元気のよいグループで羽目を外すこともありますが、十の個性がうまくまとまった楽しいクラスです。

文集のテーマは「おおきくなったら」。日常生活の中に大きくなった時の自分を映し出す子たち、何かの折に見て触れた非日常の中に憧れを抱く子たち。どちらの夢も、大人になる過程で、軌道修正したりしながらも、好きという気持ちを持ち続け努力していかなければ得られないもの。みんなを応援しています。

今年も無事にセンターが運営できましたこと、役員さんはじめ保護者の方々のおかげです。ありがとうございました。





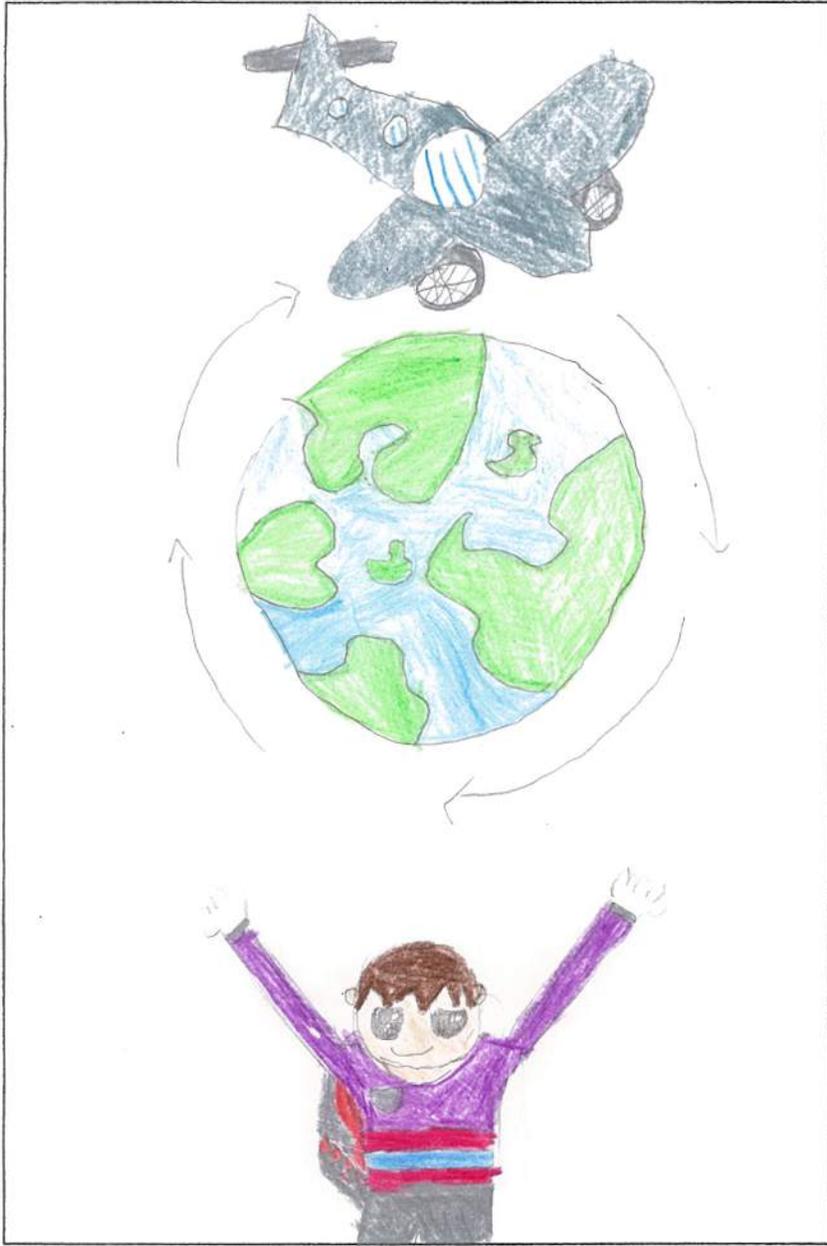
い	は	ウ	ダ	ッ	ぼ
こ	い	キ	に	た	く
あ	ゆ	い	い	ら	は
う	ズ				お
に	に	て	い		お
な	て	ス	り	き	
り	る	タ	ウ	く	
た	、	い	ッ	な	

題

ぼくが
大きくな
な

なまえ

けんぞう



	で	う	い	な	ぼ
	す	に	っ	っ	く
	。	い	し	た	は
		っ	ゆ	ら	い
		て	う	、	お
		み	り	せ	お
		た	よ	が	き
		り	こ	い	く

題
お、お、きく、く、め、たら

なまえ
ど、い、た、く、み



だ	う	て	ゆ	き	
か	ぶ	す	う	く	わ
ら	つ		い	な	た
で	が	な	に	た	し
す	だ	ぜ	な	こ	は
	い	な	り	ら	
	す	ら	た		お
	き	ど	い	じ	お

題
おおきくたまたま

なまえ
たまとまや

ら



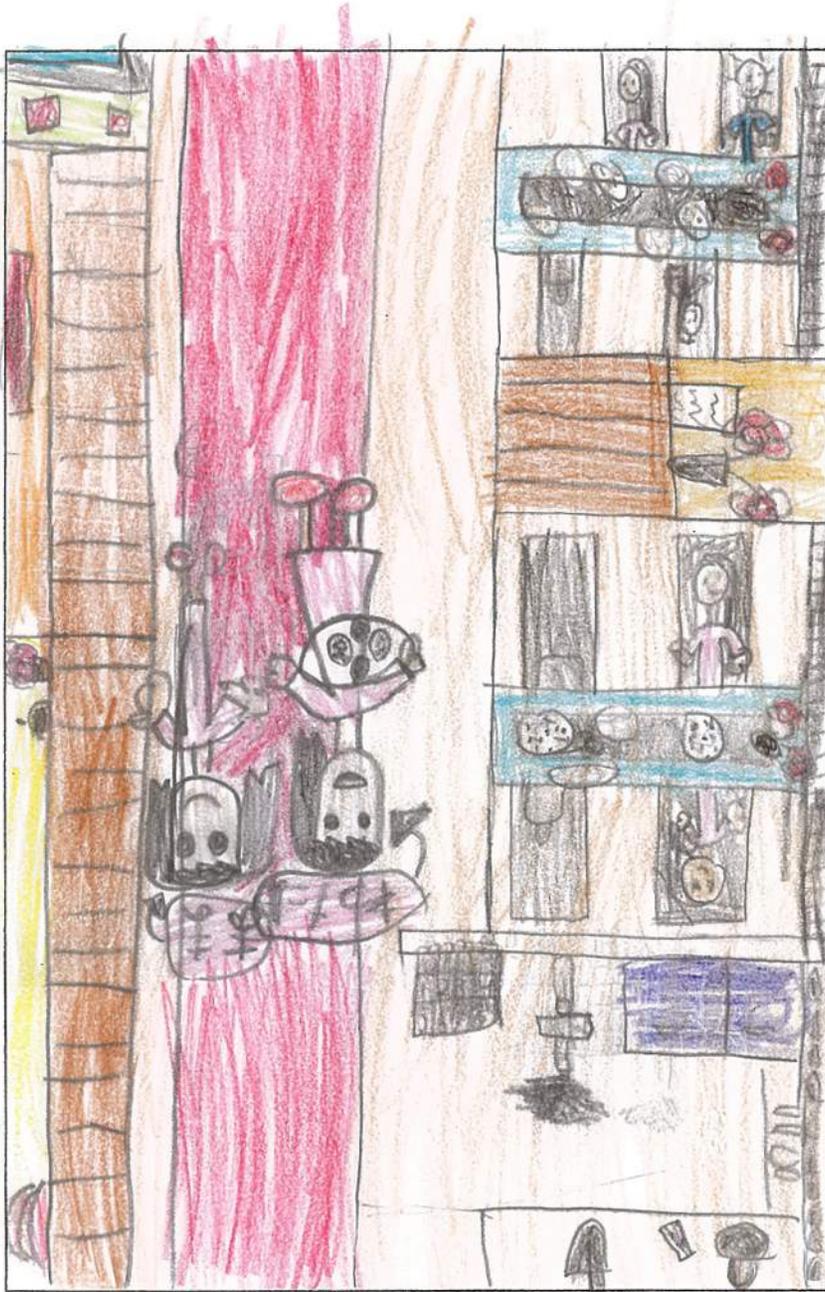
	す	ハ	す	が	お
	。	ッ	。	か	お
		ピ	え	に	き
		ー	を	な	く
		に	か	り	な
		な	く	た	っ
		り	と	い	た
		ま	、	で	ら

題

あたしのゆめ

なまえ

おさきわさな



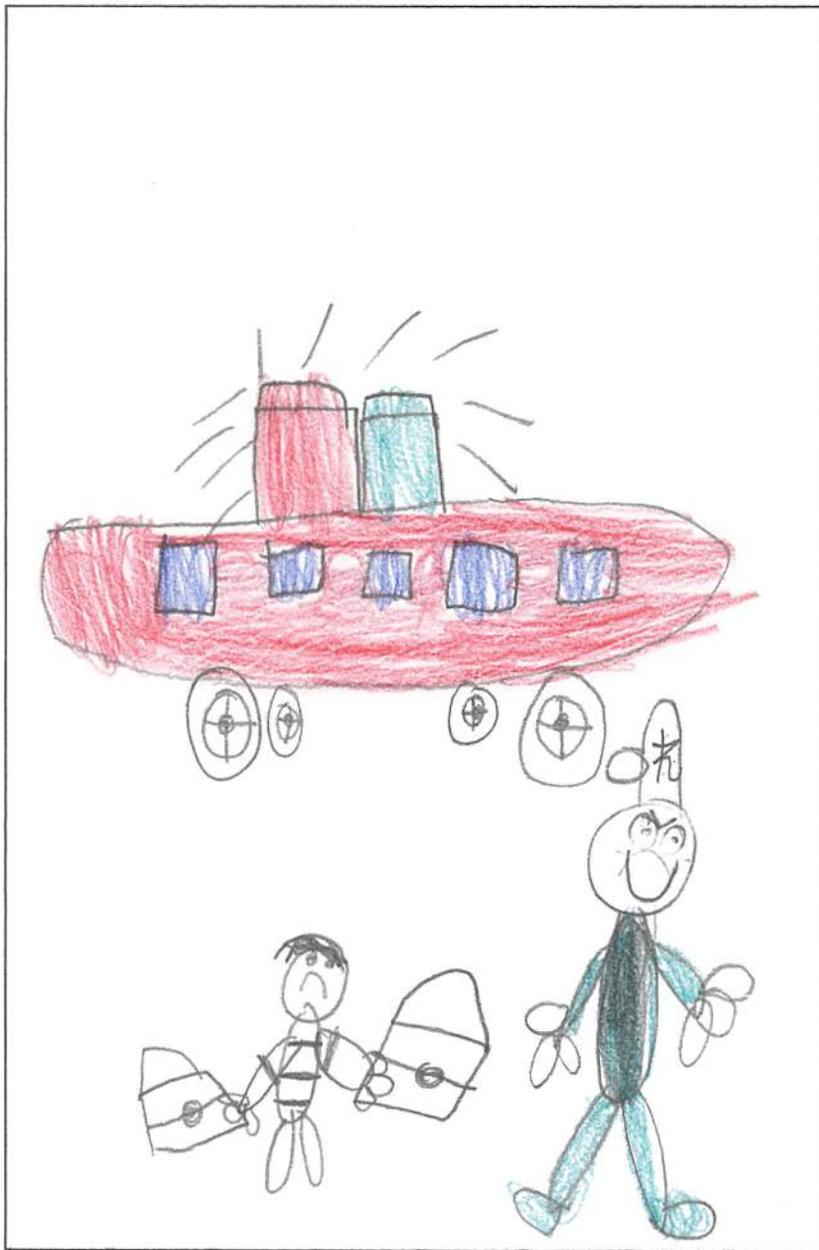
の	り	ん	り	ウ	お
が	よ	と	た	エ	お
た	う	い	い	イ	き
の	り	っ	っ	ト	く
し	を	し	お	レ	な
み	は	よ	が	ヌ	っ
っ	こ	に	あ	に	た
	ぶ	お	さ	な	5

題

お
あ
き
く
な
っ
た
5

なまえ

あ
お
い



	ま	お	に	ら	
	え	る	な	'	お
	た	い	り	け	お
	い	人	た	い	き
	て	を	い	さ	く
	す	'	て	つ	な
	。	つ	す	か	っ
		か	ん	た	

題

よのおきくなら
なまえ

レニー



い	ま	く	口	を	あ
ま	す	ク	ワ	フ	た
ま	。	ス	イ	く	し
す	フ	て	ヤ	リ	は
。	ラ	は	ル	た	ま
	い	た	ド	い	よ
	ス	う	リ		じ
	へ	ま	エ		ん

題
あ
す
ま
く
な
た
ら

なまえ
ま
い
か
と
あ
ま
し
オ
リ
ウ
エ
エ



み	て	さ	た	に	す
た	す	し	た	は	す
い	。	み	べ	ん	さ
て	す	も	た	て	く
す	さ	た	い	ら	た
。	け	べ	て	。	。
	も	た	す	め	た
	の	い	。	ん	ち

題

にほり

なまえ

ゆあん



た	才	じ	き	な	
い	り	ゆ	ゆ	っ	ぼ
て	ニ	う	う	た	く
す	ス	い	た	ら	は
。	ト	が	い	、	、
	に	、	い	き	大
	な	バ	ん	ゆ	き
	り	イ	が	う	く

題

大きくなったら

なまえ

くりはらゆうと



児童部2 山本智絵先生

今年度を振り返って

今年度は、オリエンテーションやベイクセルなど 沢山の新しいイベントに挑戦しました。そしてそのイベントの度に 保護者の皆さんから貴重な助言をいただくことが出来、いくつか課題を残しましたが、全て成功のうちに終わることが出来ました。特に印象に残っているのは、皆で保護者室で行ったベイクセルです。最初は恥ずかしがって小さい声で接客をしていたのに、時間が経つにつれ 自信に満ちた大きな声で接客できるようになっていました。この様に教室内でのカリキュラムに囚われず 外に出て日本語を使う機会を増やすことが子供たちが日本語を話すことへの自身につながるのでないかと実感させられたイベントでした。来年度以降もこの様な試みを行ってみたいと切に願っています。またこのイベントは保護者の皆様のご協力なしでは成し遂げることの出来なかったイベントです。この場をお借りして 改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

年度初め、私に勤まるのかどうかと悩みが尽きない日々が続きました。しかしこれまでを振り返ってみると 多くの方との出会い、多くの方の善意に触れることが出来、教員としてセンターの活動に携われたことが本当に幸いだったと感じています。

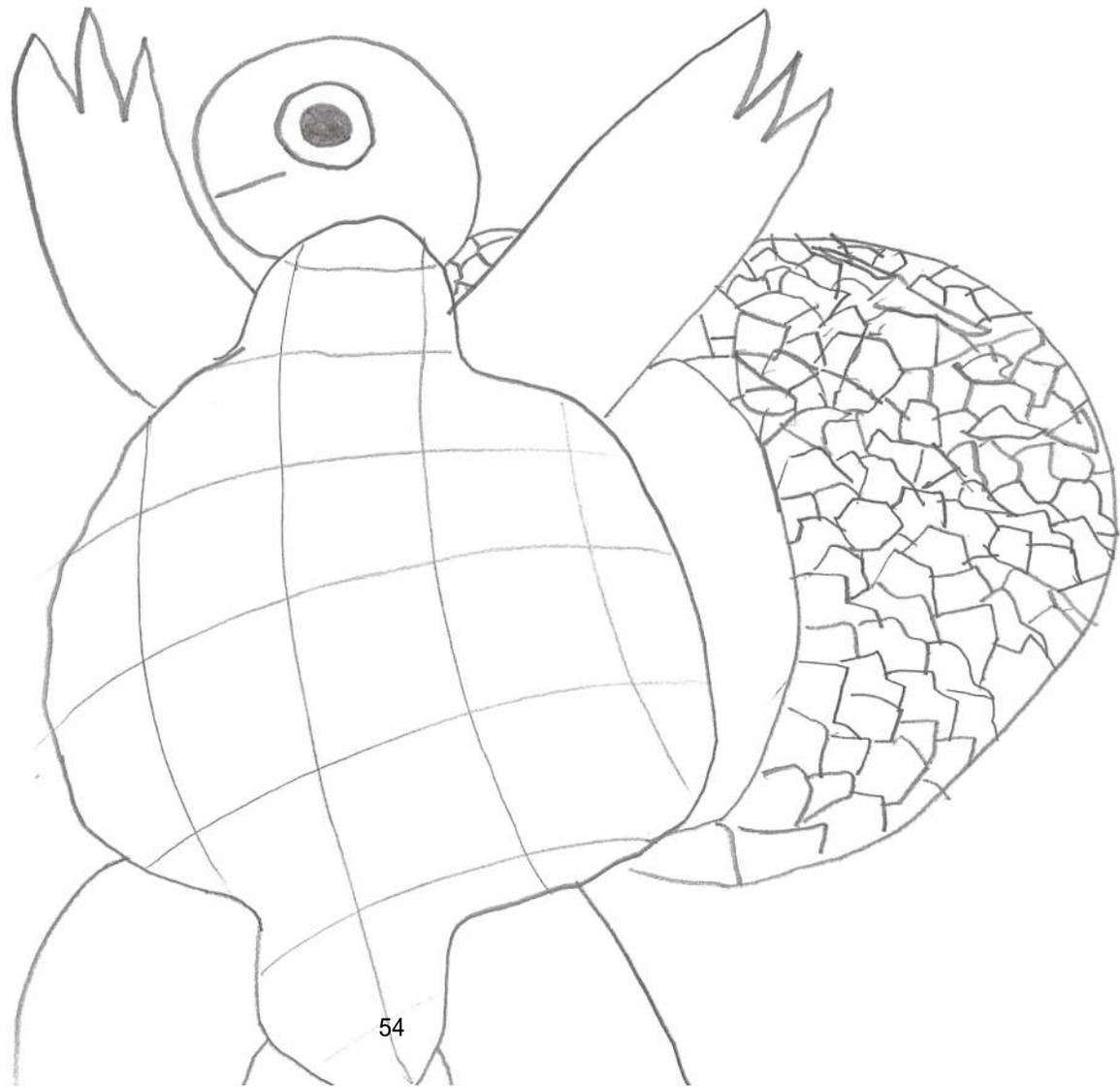
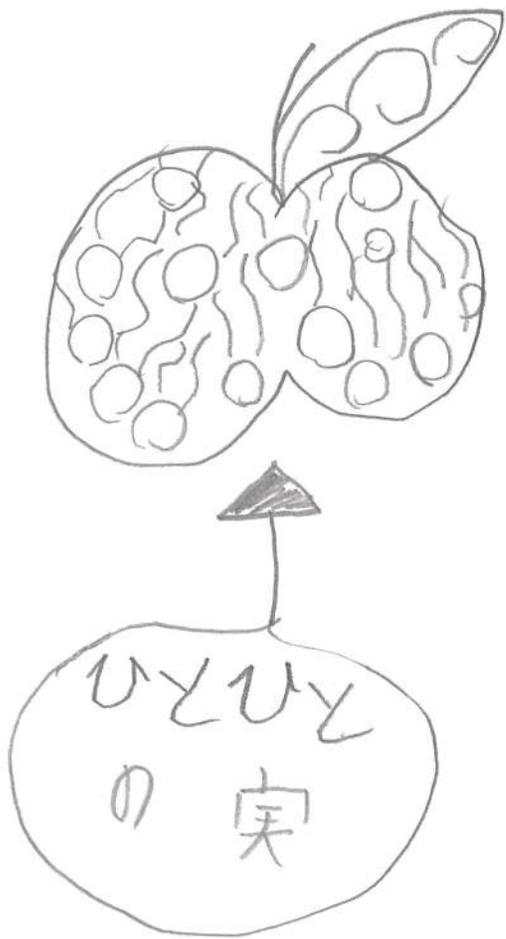
本年度を持って、教員としてセンターの活動に携わるのが最後となります。今後は違う形で皆さんと一緒にセンターを盛り上げて行けるよう頑張りたいと思います。

最後になりますが、本年度 教員を支え、センターを運営してくださった役員の方々に どうもありがとうございました。教員の要望や問題解決に迅速に対応していただきとても感謝しています。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

山本 智絵

じゅん

せ	れ	を	ん	き	お	か	ぶ	ど	す	ん	ど	の	あ
た	た	ま	と	い	お	か	つ	う	る	み	う	実	た
い	し	ぜ	ば	ご	き	か	が	し	木	た	ぶ	で	し
か	は	た	い	す	さ	ら	な	ご	の	い	つ	す	が
と	ど	あ	な	は	は	ご	に	ほ	実	に	に	。	ほ
い	の	じ	つ	あ	り	ご	を	し	ご	う	た		し
う	ど	ご	ぶ	じ	ん	。	か	い	す	ご	べ		い
と	う	ず	る	は	ご		ん	か	。	い	さ		も
か	ぶ	。	さ	り	み		が	と		た	せ		の
め	つ		し	ん	た		え	い		り	る		は
ご	に		ご	ご	い		こ	う		し	と		ひ
す	た		ぶ	ご	に		る	と		に	に		と
。	べ		と	め	あ		か	ど		べ	ん		ひ
。	。		う	ろ	あ		わ	う		り	げ		と

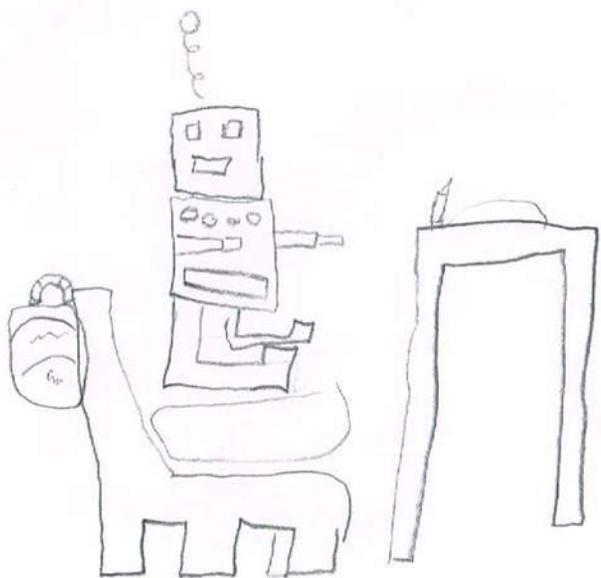


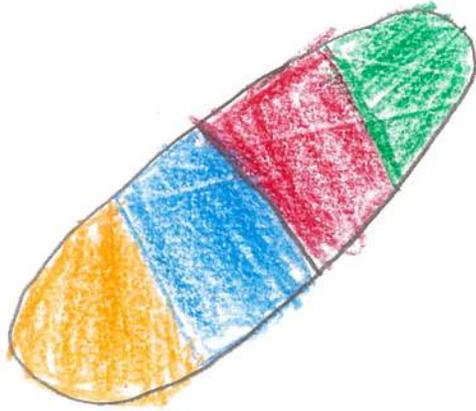
ハイキングマシン

なまえ

水野 佳音

ま	も	ん	ま	り	に	ソ	
す	あ	き	す	く	ガ	は	バ
。	た	よ	。	た	っ	い	ん
	ま	う	マ	い	ア	は	き
	ガ	す	ツ	も	う	く	か
	よ	る	し	し	に	の	う
	く	と	ソ	て	い	ガ	マ
	な	は	ガ	く	て	わ	ツ
	り	く	バ	れ	し	り	い





た	い	が	も	そ	し	か	ほ
い	ろ	で	う	れ	で	で	く
で	か	ま	み	は	す	ま	は
す	と	ま	の			る	ど
	こ	す	中	う		く	こ
	ろ		で	ち		す	で
	に	こ	も	り		り	も
	い	れ	い	ら		か	い
	ま	で	ま	で		ほ	ま

題

あったらいいなこのな
もの

なまえ

あべがいと



ラ	ベ	せ	し	ふ	い	カ	と
は	つ	ん	ゃ	つ	な	メ	く
と	な	°	し	う	と	ラ	ベ
っ	プ	ご	ん	の	お	が	っ
た	り	も	し	カ	も	あ	な
し	ん	こ	か	メ	い	っ	プ
ゃ	ト	の	と	ラ	ま	た	り
し	カ	と	れ	は	す	ら	ん
ん	メ	く	ま	'	°	い	ト

題

プリン
トカ
メラ

なまえ

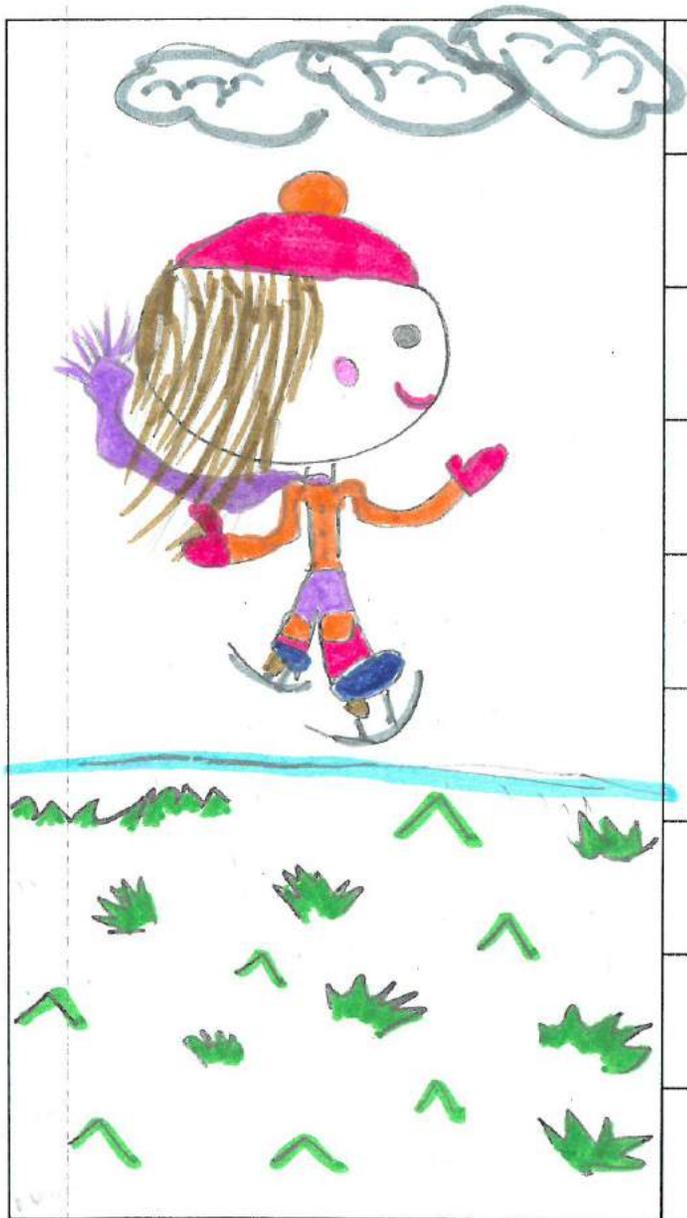
パー
ペ
ま
や

題



か	き	上	つ	した	の	き
ん	の	に	た	き	と	上
た	え	そ	あ	の	え	に
ん	を	の	と	し	ば	う
に	プ	な	か	や	つ	る
で	り	つ	ら	し	な	せん
き	ん	の	ん	つ	ま	な
ま	と	け	雪	を	の	す
す	か	し	の	と	け	の

なまえ



			ぐ	た	の	さ	。
			ま	り	上	の	そ
			す	お	に	雪	水
				も	ス	だ	か
				し	ケ	る	ら
				る	ー	ま	い
				く	ト	や	花
				あ	や	く	と
				こ	っ	さ	く

題

なまえ



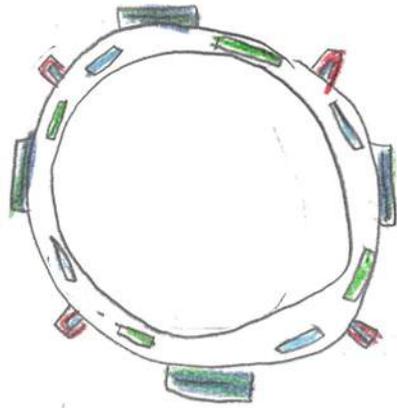
題

ロボットのイヌ

なまえ

れいな

た	に	て	り	い	イ	わ
い	の	く	'	っ	ヌ	た
で	っ	れ	お	し	か	し
す	て	た	う	よ	ほ	は
。	そ	り	ち	に	し	ロ
	ら	'	を	あ	い	ボ
	を	せ	ま	そ	で	ッ
	と	な	も	ん	す	ト
	び	か	っ	だ	。	の



		ら	い	ン	こ	マ	し	ぼ
		ア	と	が	の	シ	く	
		す	こ	あ	子	ン	は	
			ろ	ッ	レ	が		
			へ	た	ポ	時	テ	
			い	ら	ー	し	レ	
			け	い	ト	レ	ポ	
			る	き	マ	で	ー	
			か	た	シ	す	ト	

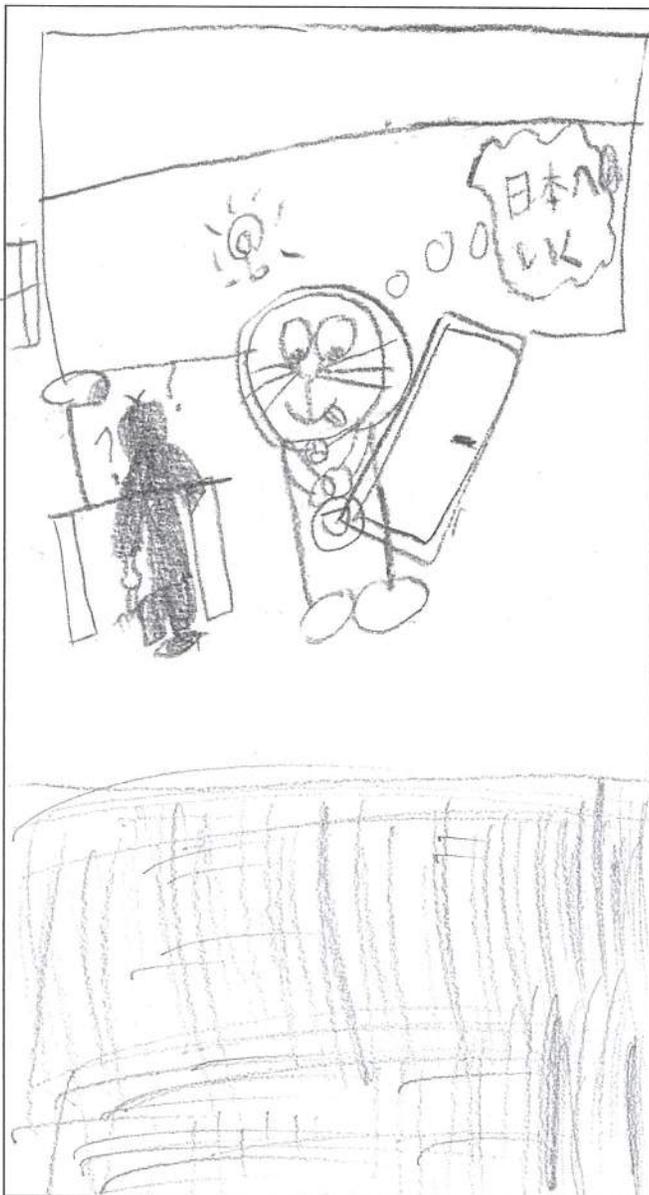
題

テレポルトマシン

なまえ

東東田ニコル

〇



く	す	問	い	、	、	日	
に	。	と	く	カ	て	本	わ
あ	ぜ	お	の	ナ	い	へ	た
い	ひ	金	は	ダ	ま	い	し
に	日	が	、	が	す	き	は
い	本	が	沢	ら	。	た	、
ま	の	が	山	日	し	い	い
た	か	り	の	本	が	と	つ
い	ど	ま	時	へ	し	思	も

題

あったらいいなこんなもの

なまえ

松田 梨乃

題

あつたうらいいながまこんたま

なまえ

松田 栄

と	じ	ア	の
ん	い	し	ご
ご	ち	を	い
い	ア	つ	つ
ま	ん	が	ご
た	の	つ	こ
い	う	て	ご
ご	ち	い	も
す。	ハ	お	ド



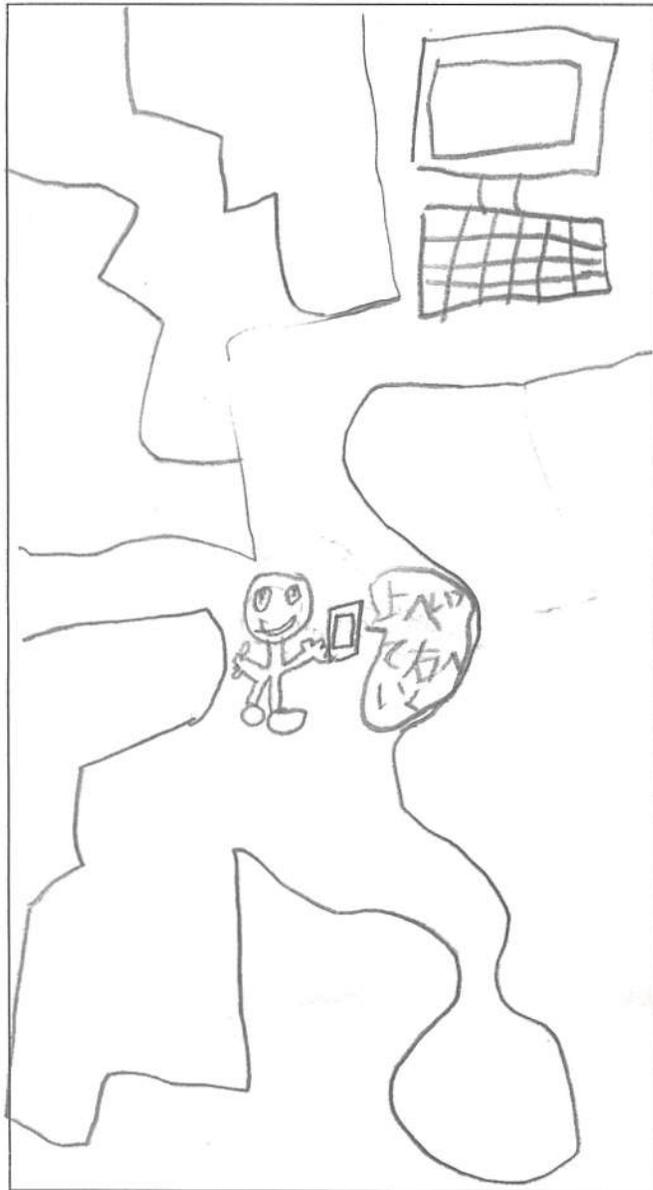
の	ぶ	な	に	ら	そ	り	
し	こ	く	ひ	が	り	ッ	ト
く	と	て		あ	し	ク	レ
あ	も	も	は		は	へ	ノ
そ	で	い		て		で	ト
べ	き	い	て		き	ん	工
ま	て	し	も	だ	や	ど	レ
す			ら	れ	タ	う	ク
	た	と	わ	か	ピ	の	ト

題

で
ん
ど
う
そ
り

なまえ

ゆ
う
え
い



え	い	な	は	お	あ	み	
で	さ	に	ご	も	っ	ぼ	
ど		を	ん	い	た	け	く
こ	そ	ほ	あ	ま	う	ら	は
に	の	し	み	す	べ	お	
あ	も	い	た	ん	る	な	
る	の	か	い	が	り	も	ん
か	を	を	で	た	だ	の	で
を	こ	か	す	ち	と	が	も

題

たよんでもみつけ

なまえ

りゅうと

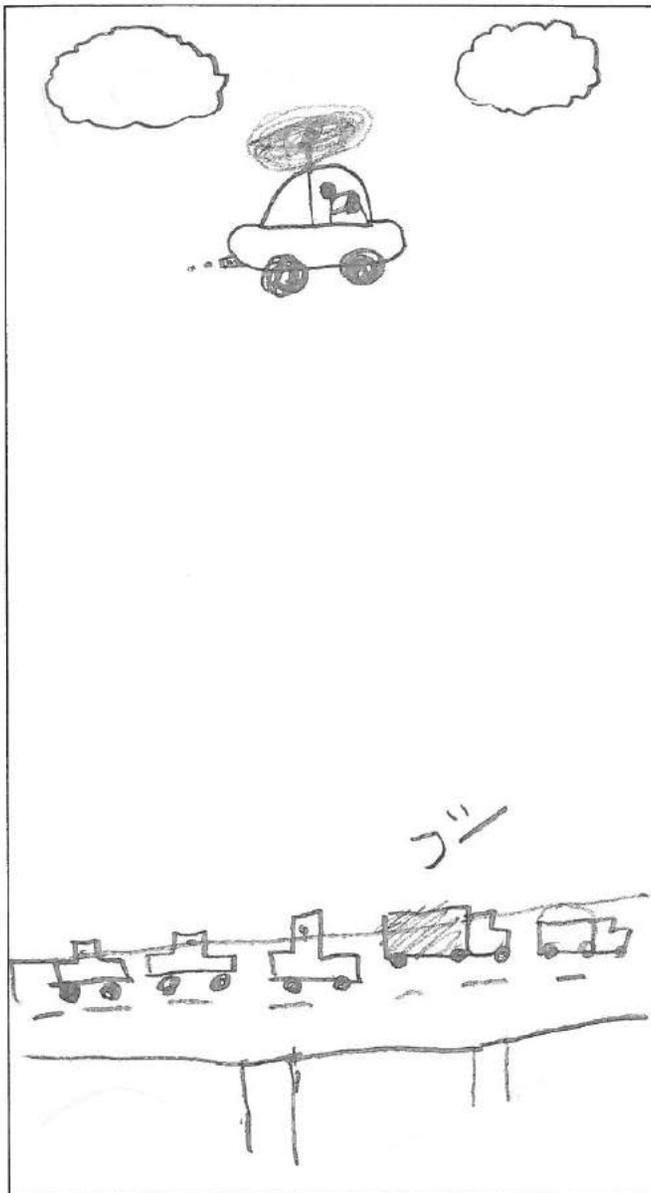
ま	く	え	あ
す	お	て	し

題

			つ	ご	や	ま	る	冬
			い	い	ラ	し	カ	休
			こ	ろ	は	た	し	み
			ま	い	十	。	ラ	中
			す	ろ	ハ	そ	ペ	に
				。	な	本	の	ン
				に	セ	カ	を	い
				お	ッ	ラ	買	の
				ガ	ト	し	い	あ

なまえ

勇太



け	こ	た		す	ら	が	
る	へ	い	な	。	い	つ	ぼ
か	で	も	せ		い	い	く
ら	も	し	な		な	た	は
で	じ	な	ら		と	車	、
す	ゆ	い	、		お	が	プ
。	う	し	じ		も	あ	ロ
	た	い	ゆ		い	つ	ペ
	い	ど	う		ま	た	ラ

題
そらとぶ
くるま

なまえ
あきと



兒童部3

橋口麗華先生

じどう3のみなさんへ

橋口麗華

あつと言う間に一年がたちましたね。
今年の日本語センターはどうでしたか？

さいしよはどんなクラスか、どんな先生か、ふあんでしたでしょう。
先生も同じでした。

でもあつと言う間に、にぎやかで楽しいクラスになりました。

きちんと先生や友だちの話を聞いたり、せつきよくてきに話をしてくれたり、いっしょうけんめいテストにいどんでいたみなさんに かんしんしました。

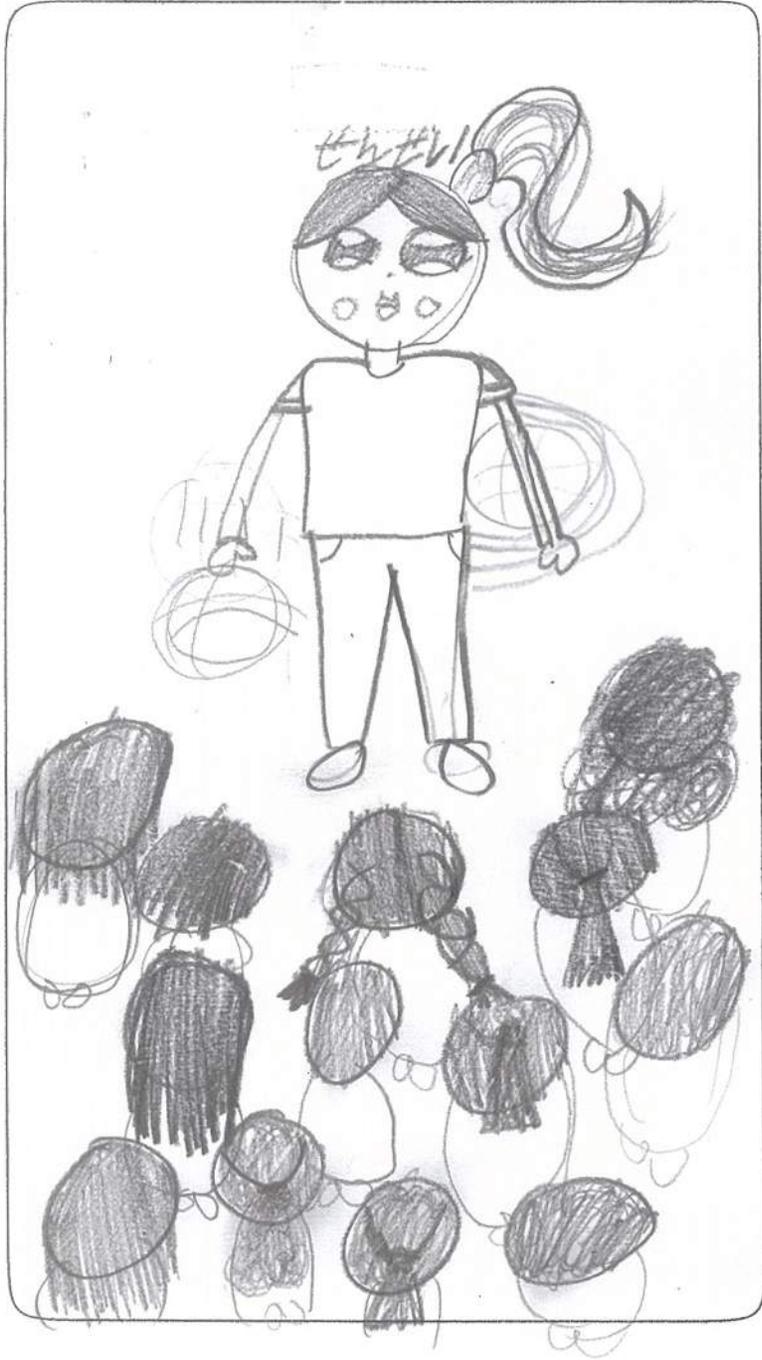
これからもっとばんきようがむずかしくなるかもしれませんが、楽しくつづけて行ってほしいと思います。



クラス内での授業だけでなく、初の試み・オリエンテーリング、運動会や発表会など、クラス一丸で頑張る行事も終え、更に生徒さんたちの絆が深まったと思います。

今年の彼らの成長ぶりを心から嬉しく思いつつ、更なる成長を楽しみにしています。
ありがとうございました。





題
今、一ばんがんば、っていること

なまえ
西田 香子

わたしがいちばんがんば、っていることは、学校の体いくです。よせよらは、わたしはスポーツが大好きです。先生のいうことをきいてがんば、っています。わたしは、スポーツが大好きです。だからいるんなよ。スポーツにちよ、うせんしたいです。



題

今「ばんが」がんばっていること

なまえ

清原 路輝

「ぼくが今「ばんが」がんばっているのは、フランス語のべん強です。

本ちとよんだらお父さんにおしえます。

「ぼく」のゆめがかなえられるようにがんばります。

題

今一ばんがんばっていること

なまえ

ファラハットゆうげん

ぼくはカガクのベンキョウを
がんばっています。プラネタリウ
ムでほしのベンキョウをしたり、
テレビばんぐみを見ています。

ぼくは、大きくなったらカガクしゃいなりせい
からがんばっています。



題

今一ばんがんばっていること

なまえ

石川史貴

ぼくが今一ばんがんばっていることは、せん
 すうです。毎日、学校からかえって、しゃくだい
 をしています。学校のブルエッジで百こんを
 もつりたいからです。ほかのももようかも
 がんばって、しよ来は、ががくしゃになりた
 いです。



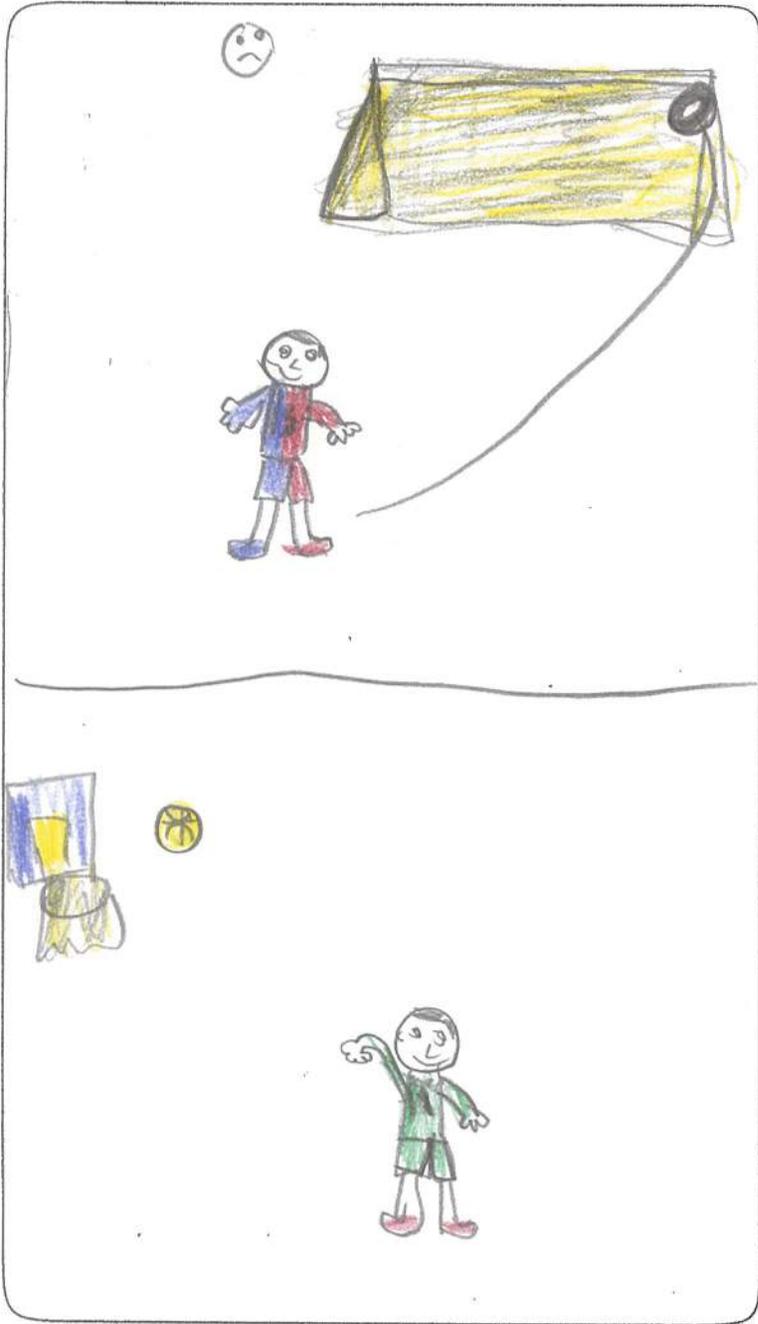
題

一ばんがんばるってこと

なまえ

ウドラフウィリアム

ぼくのライオンばんばんばっこしていることは、サッカーとバスケットボールです。全部で四チームにしよう。毎日ひまな日なくともいそがしくしています。ぼくのゆめは、ナイターやボクシングのようなプロのサッカーせんが、カイリーのようなプロのバスケットボールせんまになることです。



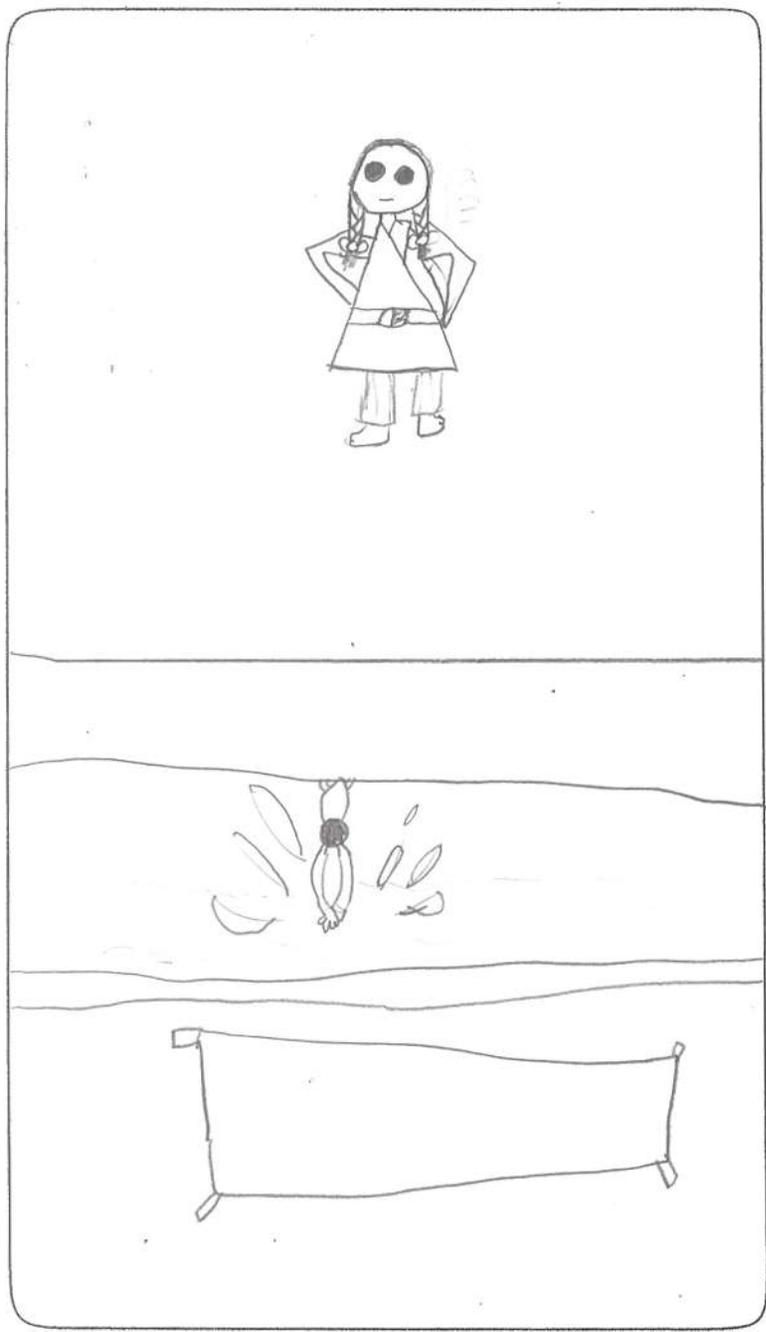
題

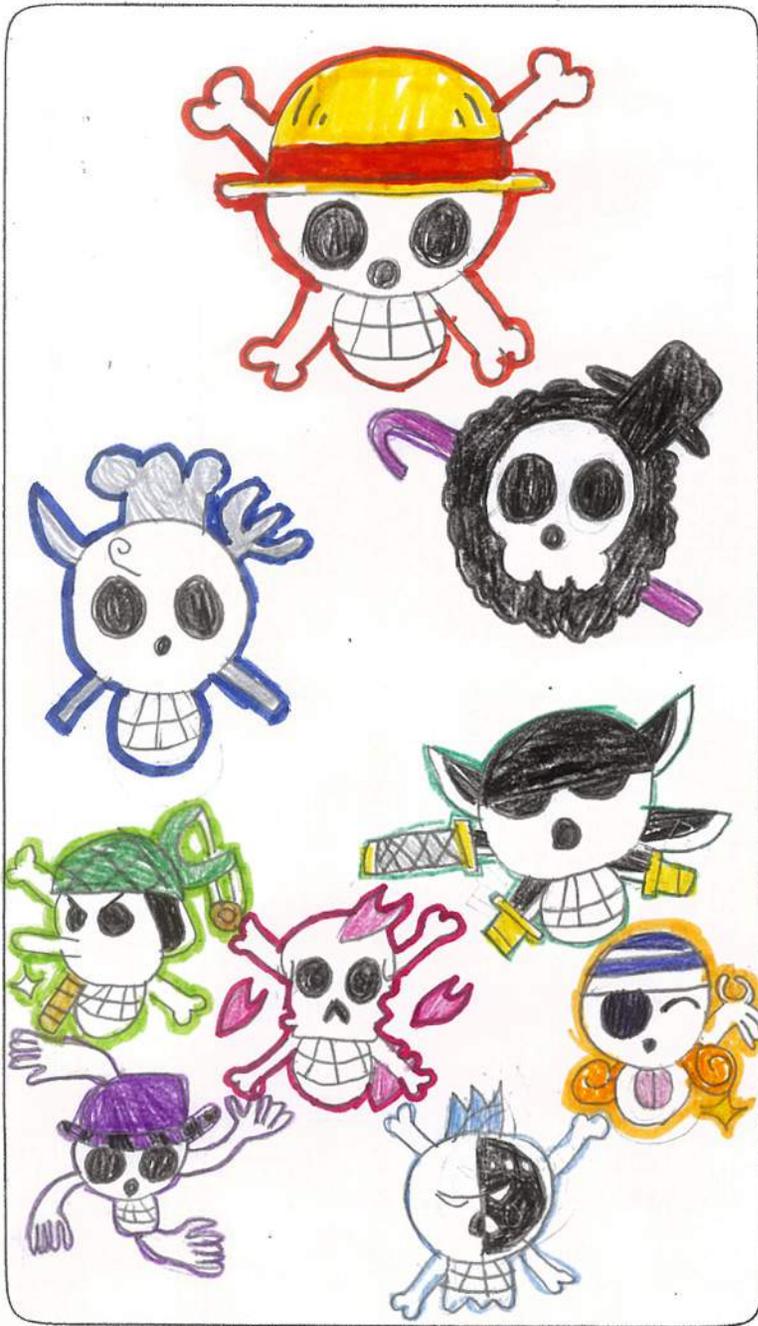
「今、ばんばんぱつといること」

なまえ

山しろ あいり

あたしは、空手と水泳をまいしゅうならっ
 ています。体をよくするためにかんぱつていま
 す。甲子おびとキッズのせいごまでおありた
 いです。





題
今、一ばんがんばっていること

なまえ
梅山夏夜

私がさいきん好きなのはワンピースを見たり読んだりすることだよ。私がんばっていることは日本に帰ることができるようになることです。こんど日本へ行ったときは、おじいちゃんおばあちゃんおれいといっしょいあそんで、日本の文化をべんきょうしたいです。

題

今、ばんがんぼつていふよ

なまえ

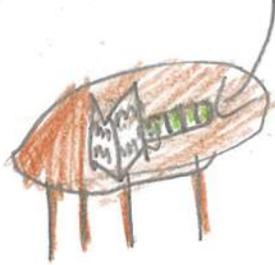
キカヘルタイソ

わたしはヴァイオリンをがんば。そけいませ。
 女子校でヴァイオリンのじゆんが、おぼろげに
 じゆんが、おぼろげにおぼろげに、おぼろげに、
 レッスンをと。ていませ。五年生にな。た
 らフルートをふいてみたいで。





本のしみ



題

△「ばいばい」がばいばいして

なまえ

川島(×)の(×)

おたいは△の本を^土見^見て^見ます。おたいは△の本を^土見^見て^見ます。

おたいは本を^いい^いま^ます。おたいは本を^いい^いま^ます。

おたいは本を^いい^いま^ます。おたいは本を^いい^いま^ます。



題

今、一ばんがんばっていること

なまえ

ルキマイヴァン

小さいぼうで大きいしろを作っています。

まい日二つづつやっています。

早くおわらせて、ゲームがあそべる

ようにがんばっています。

しょう来大きい家をたてます。



今日、一ばんがんばっていることは、
 バレエです。じょうずになりたいので、毎
 日れんしゅうしています。
 これからいえるんなダンスができるように
 になりたいです。

題

今日一ばんがんばっていること

なまえ

みらん

み

題

△△△はかんかんはっている

なまえ

はすみは

わたしはピアノをかんはっている。毎日二十分ピアノをかんしゅうをしています。ピアノにになりたいです。





児童部4 渡辺志津香先生

一年を振り返って

児童4 渡辺 志津香

今年の児童四は男の子の多い元気いっぱいクラスです。時には羽目を外してしまうこともあるけれど、とても素直でユーモアたっぷりの素敵なクラスです。そんな男の子にちょっと押され気味な大人しいけれど、しっかり者の女の子達。ちょっと飽きれながらそんな男の子たちを眺めていることもしばしばでした。でも、授業中にはしっかりと挙手をして発言をしてくれます。これからも仲良く、素晴らしいクラスメートとともに、相手を思いやりながら、楽しく日本語学習をしていってください。

このクラスは授業中の会話のキャッチボールがとても面白いクラスです。ユニークなアイデアマンが沢山います。反応がとても面白く、授業から脱線してしまうこともしばしばでした。その為か、今年はどこらかというアクティビティの多いカリキュラムになってしまいました。教科書や物語を読むよりは会話を楽しむクラスです。こんなの見つけたよ！と私が何か紹介すると、みんなも自分の知識を振り絞って色々な事を発言してくれました。簡単なディベートにも挑戦してみました。自分の意見を発言するのは大変ですが、いい練習になったのではと思います。新しい知識に食欲にこれからも色々な事を幅広く学んでいってください。

今年も「本を読もう」と図書室にて、クラス単位で本を貸し出してもらいました。なかなか思うようには読み進められないようでしたが、少しは興味を持って読書に取り組んでもらえていたらうれしいです。これからも沢山の本を読んでいってください。

最後になりましたが、色々な面でサポートしてくださった保護者の方々、役員の方々、教員の皆さん、本当に一年間ありがとうございました。

文集テーマは『本で調べて報告しよう』です。今、みんなはどんなことに興味を持ち、調べてくれるのでしょうか。楽しみます。

す	な	お	の	す	え	は	め		ッ	こ	き	と	時			っ
、	に	け	そ	と	ば	い	る	う	ト	み	し	お	も	ま		こ
地	も	る	れ	い	、	つ	も	ち	ご	ま	こ	も	う	く		い
き	な	か	は	つ	つ	も	の	も	し	し	ま	つ	の	は		る 地
も	い	ら	、	か	く	ま	が	う	ら	た	あ	た	こ	、		の け
う	の	ご	つ	と	え	あ	な	い	べ	。	つ	の	と	ほ		か も
は	ご	す	く	ま	の	つ	い	は	こ	ほ	こ	ご	を	く		? う
い	、	。	え	上	こ	の	、	み	く	い	、	も	の			は
つ	ま	う	と	こ	で	い	で	地	ま	は	る	地	つ	す	う	ど
ま	け	ち	の	し	こ	ま	、	け	し	イ	の	け	と	ん	ど	う
ご	つ	も	ま	ま	ま	す	地	も	た	ソ	か	も	し	ご	ん	し
も	が	う	け	い	を	。	け	う	。	タ	し	う	り	い		こ
ま	お	に	つ	ま	ま	た	も	を		ー	ら	か	た	る	こ	ま
あ	は	は	か	す	あ	と	う	と		ネ	べ	ど	い	地	お	あ

			へ	が	た	う		お	地	す	く	あ	の	く	ま		っ
			こ	地	の	の	ほ	つ	ほ	ま	せ	り	と	も	え	地	こ
			み	ほ	こ	こ	く	こ	も	く	い	つ	ほ	の	い	ほ	い
			た	も	と	は	い	う	が	も	づ	か	中	、	も	ま	
			い	う	こ	を	、	ま	と	ス	、	け	ら	か	う	う	す。
			で	い	ん	し	し	す	お	か	地	こ	地	ら	あ	は	
			す。	う	ど	る	ら	。	な	ら	ほ	い	ほ	う	ま	、	
			ま	は	の	へ		い	う	も	ま	も	ま	く	や		
			れ	ど	が	こ		ほ	ま	う	す	う	れ	か	く		
			た	う	た	み		う	れ	と	。	は	ま	ス	四		
			の	や	の	こ		こ	た	お	ほ	ず	し	や	十		
			か	つ	し	地		う	の	な	か	つ	た	ち	六		
			し	こ	か	ほ		い	で	い	の	と	。	り	億		
			ら	人	つ	も		ま	、	う	あ	ま	そ	の	年		

女	じ	せ	く	次	ま	け	わ	く	し	こ					
神	今	よ	い	て	に	さ	し	ま	ど	ら	自	ぎ	ん	ぼ	自
を	ど	う	し	、	頭	い	た	し	く	れ	由	ど	な	く	由
見	N	も	ま	や	が	し	。た	立	た	の	し	大	は		の
に	Y	か	し	。で	よ		。戦	も	女	た	き	本			女
行	へ	か	た	と	。に		そ	争	の	神	。な	を			神
こ	行	り	。さ	ま	右		の	で	な	は		像	よ		が
う	。ま	な	ふ	し	手		百	フ	の	、		が	ん		つ
と	た	し	ん	を	た	が	年	ラ	で	フ		ど	ど		く
お	ら	た	と	集	。で		記	ソ	す	ラ		。こ	、	笠	ら
も	、	。ニ	め	お	。さ		念	ス	。ソ			た	ど	井	れ
い	自		十	て	金	ま		に	が	ア	ス		の	う	た
ま	由		年	か	が	し		た	た	メ	ど		か	し	健
す。	の		い	ん	な	た。		こ	す	り	つ		ふ	こ	治

と	ん	ぞ	よ	ん	で		も	な	う	ま					三	は	
足	は	ん	く	を	で	日	か	い	の	と	み				つ		
が		い	み	モ	き	本	り	人	か	カ	ん				な	二	
あ	顔	で	ん	デ	こ	の	ま	は	あ	ナ	な				の	つ	ど
り	と	し	な	ル	い	雪	す		知	ダ	は				ご	の	う
ま	ど	よ	は	に	る	だ		ほ	っ	の					す	ま	し
せ	う	?		し	理	る	+	く	て	雪	な				か	る	て
ん	か	そ	だ	て	由	ま		の	い	だ	せ				?	で	日
	く	し	る	い	は	が		文	ま	る	日		西			日	本
	つ	て	ま	る		二		集	す	ま	本		火			カ	の
	い	た	さ	の	た	つ		を	か	は	の					大	雪
	て	る	入	で	る	の		よ	?		雪		し	し		ダ	だ
		ま	を	す	ま	ま		め	知	ち	た		ウ	ウ		の	る
	手	を	こ		る			ば	ら	が	る		う	う		は	ま

1	か	な	り	は	メ	あ	と	ゆ	間	が	さ	い	ー	あ			
プ	ら	い	ゆ	あ	1	は	る	か	ま	が	ふ	く	時	つ	る		
ル	で	か	う	ん	プ	ん	か	ぜ	が	な	り	°	に	め	の		
の	す	ら	は	ま	ル	た	も	ん	と	く	す	ニ	ま	は	に	な	
本	°	と	冬	り	の	い	し	ぶ	け	て	ま	つ	く	、	かん		
は	ニ	ま	の	な	木	に	た	水	て	さ	る	め	°	ま	ム	ナ	で
メ	つ	が	あ	い	が	な	な	に	水	け	と	の	ふ	く	レ	ダ	日
れ	め	ま	と	の	あ	ぜ	で	な	に	な	さ	り	つ	ら	イ	で	本
プ	の	し	に	か	る	、	す	つ	な	く	く	ゆ	う	は	テ	は	で
ル	り	ん	早	°	け	カ	°	て	つ	な	ら	う	は	ち	イ	な	は
シ	ゆ	で	く	一	が	ナ		る	て	る	が	は	、	よ		い	さ
ロ	う	し	そ	つ	日	夕		こ	ま	こ	ま	、	は	と	俊	?	く
ッ	は	ま	だ	め	本	で		と	く	と	く	ゆ	る	あ	書		ら
プ	メ	う	た	の	で	は		も	こ	と	時	ま	に	つ			が

														も	か	ー	カ	の
														っ	ら	プ	ナ	り
														と	日	ル	ダ	よ
														た	本	シ	の	う
														か	で	ロ	本	が
														い	は	っ	は	ち
														。	メ	プ	目	か
															ー	が	本	い
															プ	入	の	ま
															ル	っ	木	す
															シ	て	よ	。
															ロ	る	り	た
															っ	。	も	か
															が	た	メ	ら

ら	る	の	だ	た	い	せ	り	で	う	て	守	と	あ		が		
に	の	が	か	く	た	ん	え	す	な	い	る	か	い	る	か	め	
っ	で	生	ら	な	ア	で	の	。 皮	ま	た	め	う	の	め	の		
い	す	ま	、	い	ル	し	化	か	う	す	め	の	本	か	ち	こ	
て	。 。	の	こ	こ	ケ	た	石	め	と	。 。	に	こ	で	を	見 ⁴	う	
言	調		び	う	う	口	。 。	に	の	骨	こ	燃	う	言	科 ⁷	て	ら
ハ	私	た	ら	ら	ン	そ	は	祖	が	う	達	ら	ハ	学	い		
て	は	と	ち	が	の	の	こ	先	く	か	し	は	ま	の	て		
も		考	燃	あ	化	あ	う	の	。 。	は	た	て	し	う	な		
っ	か	え	達	リ	石	と	ら	オ	っ		と	ま	た	し	ぜ		
と	め	ら	さ	ま	に	に	ガ	ド	い	っ	考	か	。 。	ま	こ	ホ	
他	の	れ	せ	し	は	全	あ	ン	た	め	え	ら		な	う	の	
の	こ	て	た	た	、	ま	リ	ト	も	の	ら	身		話	ら	ま	
種	う	い	も	。 。	が	て	ま	ヶ	の	よ	れ	を		365	ガ	が	

き	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		と	さ	か		こ	好			
、	カ	ニ	火	日	豆	実	カ	チ	こ	レ	カ	ま	調	き	わ		
ト	カ	ま	で	光	を	を	カ	コ	も	ば	オ	ず	で	で	た		
、	オ	が	あ	で	は	あ	オ	コ	レ	レ	豆		ま	ず	し		チ
ト	バ	く	ぶ	か	け	の	レ	か	き	は	チ	し	は				コ
ウ	タ	く	る	わ	こ	て	実	レ	レ	れ	今	た	チ		児	コ	
か	レ	だ	か	う	豆	を	ト	の	て	か	コ	チ	童	レ			
ら	と	く	す	さ	を	と	の	み	レ	ら	レ	コ	四	レ			
カ	ト		せ	出	る	作	物	ま	四	レ	コ	ト					
カ	レ		る	す	方	レ	で	し	千	ト	レ	レ	江	の			
オ	ト						方	し	た	年	の	ト	レ	本	作		
の	ウ						は	た	前	原		に	ト	彩	リ		
ニ	が								昔	が	料	フ	が	夏	方		
な	で								は	ら	の	レ	大				

					一	リ		乳	は	ホ	一	は		し	さ	⑧	か
					番	ま	た	を		ワ			ミ	一	と	か	で
					好	す	く	ま	カ	イ	さ	カ	ル	ト	う	カ	き
					き	か	さ	ぜ	カ	ト	と	カ	ワ	カ	を	オ	る
					で		ん	ま	カ	チ	う	オ	チ	で	ま	の	。
					す	あ	の	す	ハ	ヨ		の	ヨ	き	ぜ	二	
					。	た	チ	。	タ	コ	牛	二	コ	る	る	な	
					レ		ヨ		一	レ	乳	た	レ	。	と		
					は	コ			一	を		一			タ	カ	
					ア	レ		さ	ト	ま	カ	ト			し	カ	
					ラ	一		と	の	ぜ	カ	の			ク	オ	
					リ	ト		う	作	ま	オ	作			チ	バ	
					ネ	ガ			リ	す	ハ	リ			ヨ	タ	
					か	あ		牛	方	。	タ	方			コ	一	

り		り	ら	い		も	を		祝	一	わ	は	も			
そ	私	ま	い	こ	ふ	の	着	成	日	九	い	大	何	う	私	
で	の	す	し	と	り	が	ま	人	に	四	し	人	が	す	の	
を	い	が	が	そ	あ	す	式	な	ハ		に	調	ぐ	い		成
着	と	出	起	で	り	で	り	年	は	な	べ	成	と			人
ま	こ	来	ま	に	色	女	ま	に	げ	て	人	こ				式
す	は	る	な	は	と	々	せ	し	成	ま	た	み	式	が		と
		と	り	て	な	い	た	人	す	青	ま	で	ニ			は
私	お	い	よ	長	も	テ	は	の	日	年	し	す	十			?
も	母	う	う	い	キ	ザ		日	た	た		才	笠			
ニ	さ	意	に	そ	レ	イ	ふ	が	で	ち		成	に	井		
+	ん	味	で	イ	ン	り		出	す	を		人	な			
才	の	が	厄	で	で	の	そ	き	お			式	り	由		
に	ふ	あ	ば	悪	す	着	で	て	い			と		貴		

																		式	な
																		を	っ
																		し	た
																		た	ら
																		い	っ
																		び	ふ
																		す	り
																		っ	そ
																		お	び
																		わ	ち
																		り	着
																		び	て
																			成
																			人

1	リ	し		せ	最	は	年	1		に	な	大	ケ			に	
4	1	リ	ニ	ん	後	小	ま	グ	日	な	リ	好	1	ぼ		あ	ア
を	グ	1	0	で	の	さ	ご	は	本	1	き	リ	く		る	イ	
加	と	グ	0	し	年	く	あ	一	の	て	グ	ご	1	は		の	ス
え	韓	を	五	に	は	て	リ	九	プ	調	が	す	グ	北		か	ホ
た	国	お	年		四	人	ま	六	ロ	べ	日		の	米			ッ
ハ		手	カ		チ	気	し	六	ア	て	本	そ	試	の			ケ
チ	中	本	ら		1	も	た	年	イ	み	に	し	合	プ			1
1	国	に			4	あ		カ	ス	ま	も	て	を	ロ			リ
4		し	北		し	ま	大	ら	ホ	し	あ		見	ア			1
ご	ソ	て	米		カ	リ	会	ニ		た	る	そ	る	イ	土		グ
ア	連		の		あ	な	の	0	ケ		の	の	こ	ス	居		は
グ	の	日	2		リ	く	き	0	1		カ	あ	と	ホ	健		日
ア	チ	本	H		ま		ぼ	四	リ		気	う	ガ		人		本

				こ	う	、	H	て	、	く	、	な		ケ		、	ホ
ht	日	W		は	み	日	し	、	ケ	は	カ	ど	競	の	ほ	グ	、
ps:	本	i		は	を	本	や	将	、	思	、	試	技	不	く	は	ケ
://	ア	K		い	持	こ	海	来	を	い	と	合	の	人	は	体	リ
.m.	イ	i		か	っ	も	外	、	楽	ま	同	の	ス	気	日	止	、
.wiki	ス	P		と	人	話	で	日	し	す	じ	面	ピ	を	本	に	グ
edia	ホ	e		思	が	題	か	本	め	、	く	白	、	残	こ	な	が
.org	、	D		い	も	に	っ	の	る	子	ら	さ	ド	念	の	り	始
	ケ	i		ま	、	な	や	選	環	供	い	は	感	に	了	ま	ま
	、	a		す	と	、	く	手	境	の	に	、	や	思	イ	し	リ
	リ			、	増	て	出	た	を	頃	あ	野	、	リ	ス	た	、
	、			え	、	来	ち	増	か	る	球	難	住	ま	ホ	、	日
	グ			る	き	れ	が	や	ら	と	や	し	す	、			本
				の	よ	ば	N	し	ホ	ほ	サ	さ	、	、			リ

がり	脈	て	太	ん	1	管	周	知	
べ	の	・	枝	く	だ	は	べ	り	ぼ
を	先	毛	か	な	り	三	ま	た	く
つ	に	細	が	青	し	つ	し	か	は
く	毛	あ	血	れ	て	で	た	家	血
細	り	管	を	心	み	じ	の	た	管
て	血	0.005	毛	し	た	た	ぼ	の	の
い	管	細	て	ん	が	い	の	く	ン
る	の	0.02	血	い	だ	ら	に	筋	キ
細	特	の	管	ま	ん	出	の	肉	ニ
胞	ち	直	は	す	細	る	び	の	
と	よ	径	細	く	動	た	層	層	層
細	う	が	い	な	脈	り	が		
胞	は	あ	動	は	縮	あ			

で	ま	け	ま	た	じ	を	を	の
す	せ	ま	と	め	て	送	周	間
〓	ん	と	め	に	し	り	の	に
〓	で	き		に	ま	筋	す	す
〓	し	よ		、	ま	肉	ま	ま
〓	た	よ		い	ま	層	が	が
	た	く		い	だ	力	ら	あ
	か	三		い	で	か	筋	る
	あ	つ		い	た	う	肉	こ
	も	し		て	あ	す	は	と
	し	か		い	ら	か	動	で
	る	見		い	あ	い	心	す
	か	つ		ま	を	な	臓	〓
	っ	か		す	血	い	且	〓
	か	か		〓	液	い	〓	〓
	た	鉄		〓	〓	〓	〓	〓
				〓	筋	〓	〓	〓
				〓	流	〓	〓	〓
				〓	す	〓	〓	〓
				〓	液	〓	〓	〓
				〓	〓	〓	〓	〓
				〓	〓	〓	〓	〓

ど	が	の	1	な	ど	が	いる	て	海	白		て	た			
う	'	s	!	か	を	強	の	と	岸	色	ほ	し	の	外		ホ
ち	め	7	8	な	ほ	く	し	お	ふ	の	っ	ら	ど	き		ッ
ほ	す	○	s	か	し	'	よ	い	く	き	ク	き	べ	み		キ
り	は	○	2	あ	よ	よ	く	え	く	ん	マ	よ	た	ほ	た	ヨ
'	し	K	!	ら	く	も	せ	い	へ	に	で	く	く	っ	ら	ク
そ	ゆ	g	5	い	す	に	い	も	い	す	ッ	け	な	ま	ゆ	ク
こ	っ	○	m	○	る	ア	も	た	ど	み	口	ん	り	よ	き	マ
に	土	冬	'	た	○	ザ	肉	い	ら	'	ク	に	ま	く	が	ひ
も	ん	ゴ	体	り	せ	ラ	食	え	し	流	マ	ぶ	し	ぐ	ふ	口
ぐ	前	も	重	ち	い	ッ	け	ん	た	水	と	ん	た	ま	っ	な
っ	に	り	:	よ	し	!	い	ら	り	に	も	ぶ	○	に	て	お
て	せ	は	3	ら	っ	魚	こ	ま	も	○	い	す		っ	た	も
子	フ	い	2	:	は	な	ら	く	す	っ	ら	る		い	い	

											ネ	お	く	ま	す		を
											ッ	イ	も	ま	し	り	を
											ト	ン	い	が	た	え	あ
											。	タ	ま	上	。	い	り
												ー	し	手	た	か	に
												ネ	た	に	が	ラ	、
											ン	。	泳	ら	ま	ホ	。
											ト	イ	り	ど	い	ッ	
													で	ラ	コ	キ	
											学		い	バ	と	ヨ	
											研		た	つ	か	ク	
											キ		ん	え	あ	グ	
											ッ		た	ん	か	マ	
											ズ		と	で	り	は	

1) 枚目

し	ま	マ	に	卵	お	本	貝	こ	と	と	た	ち					
め	が	ま	イ	よ	を	す	に	で	か	み	か	て	つ	去			
つ	た	。	、	つ	産	と	は	、	た	る	た	も	む	ん	年		
た	つ		テ	て	む	め	約	世	つ	こ	つ	か	り	と	の	か	
体	む		つ	よ	こ	か	も	界	む	と	む	わ	の	お	夏	た	
の	り		テ	び	と	の	の	中	り	に	り	い	か	ば	、	つ	
上	は		ソ	方	が	区	の	に	は	し	に	か	ん	あ	フ	む	
に	一		ム	ガ	て	別	種	約	、	ま	つ	、	さ	ち	ラ	ッ	
、	た		シ	ち	き	は	類	の	陸	し	い	た	つ	、	ソ	に	
ま	わ		た	が	ま	た	ガ	万	に	た	て	の	を	ん	ス	つ	
い	ら		ど	い	す	く	い	種	す	。	、	で	し	の	の	中	い
た	か		と	、	。	、	ま	類	む	、	し	、	ま	家	お	村	て
か	く		も	マ	地	み	す	、	ま		ら	も	し	で	じ		
ら	、		い	イ	域	た	。	田	き		べ	て	た	。	か	い	楓

身	そ	た	ば	り		か	う	空	ら	ま	口	よ	よ	頭	の	臓	を	
を	こ		や	な	か	ら	の	気	出	す	ば	っ	っ	に	中	が	の	
守	で	寒	く	の	た	い	左	を	る	。		角	角	は	に	入	せ	
っ		さ	に	で	っ	ん	下	取	あ	え	短	の	が	長	入	っ	て	
て	が	が	げ		む	を	に	り	た	ら	い	先	の	長	れ	て	い	
い	ら	か	る	敵	り	外	こ	入	り	ば	し	に	本	い	る	い	ま	
る	の	ん	こ	に	は	へ	う	れ	に	様		目	ず	し	こ	て	す	
の	中	そ	と	お		出	門	て	あ	く	っ	が	っ	よ	と		。	
で	に	う	が	そ	動	し	が	い	る		角	っ	あ	角	も	体	そ	
す	体	に	で	あ	き	ま	あ	ま	気	体	の	い	り	角	で	全	の	
。	を	弱	き	あ	が	す	り	す	こ	が	下	て	一	と	き	体	中	
	入	い	ず	て	ゆ		。		っ	う	か	に	い	長	短	ま	を	に
	れ	で		も	っ		こ	気	か	ら	あ	ま	い	け	す	が	は	
	て	あ	ま	す	く		こ	こ	き	か	り	す	し	し	っ	ら	内	



兒童部5 木下直子先生

今年度の文集テーマは「もし私が世界一のリーダーだったら」という、仮定の自分がどういうことをしてみたいかというのを考えてもらおうと思いました。

現実の世界のリーダーたちというのは、子供の目線から見ても「なぜそんなことしているんだろう?」と感じると思います。大人だってそう思うぐらいですから・・・なので、今の自分でもし世界を変える力を持っていたらこんなことをしたい、こうだったらいいのにという率直な気持ちを知りたいなと思いました。

これを考えるに至ったのは、去年出会った書籍で、当時児童5の児童と同じ歳ぐらいの日系カナダ人の子が行ったスピーチが書かれている「あなたが世界を変える日」という本がありました。一九九二年、彼女はほんの5分ほどのスピーチを地球環境サミットで行ったのですが、世界の人々にとっても大きな影響を与えました。この話を受けて、みんながもし実際に実行する力を持っていたら、彼女のようになりたいのかを純粹に考えてもらいたかったです。そして、その気持ちをずっと覚えていてくれたらいいな、同じようなカナダに住んでいる人がこんな活動をしていることを知ってもらい、その先にある彼女の将来の活動についても目を向けてもらえればと思いました。

今年度は児童達に「社会とのつながり」も意識してもらおうと思いました。普段はなかなか出会うことのない立場の人たちにゲストとして授業に来ていただき、実際の現場の話などをしてもらい、人との「つながり」について身近に感じてもらえたらと思いました。

あとここ数年、できるだけ何か「食べ物」を絡ませてみる作戦?も実行しました。自分が子供の時に覚えている記憶は、ほぼ食べ物関連でした。センターでも行事ごとにおやつなどいただけのこともあり、覚えておいてもらうにはこれしかない!という策略でした。つまり授業だったけど、ちょっとしたお楽しみもあることで気分が変わってくれるならという願いをこめて・・・。

もっと時間があつたらあんなこともこんなこともしてみたいなという気持ちはあるものの、現実には時間が足りなくて、毎年駆け足な1年です。いつも年度終わりにこれでよかったのか?と自問自答します。そうこうするうちに新学期・・・あつという間です。

毎年ですがこの時期、「この子たちと一緒に過ごすのもあと少しかあ」とちょっとさみしくなります。ようやく見えてきたお互いの本性?！をじっくり温める間もなくバトンタッチです。たまに見かける上級生になった元児童5の子達はすっかり大人のように、とても頼もしく見えます。この児童5という貴重な時期と一緒に過ごせることは、私にとってもかけがえない時間なのだとしみじみ思います。

最近時間の経つのが早く感じられ、気持ちがそれに追いついていないような気がします。学校に通っていた頃なんて思い出せないほどに昔に感じられるのですが、その時々のお気持ちをたまに思い出すことがよくあります。楽しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、悔しかったこと・・・。そう思えば、子供の頃にやったことや体験したことは、断片的

にでもいつかふとした時に蘇ってくるものだなと思いました。私の過去の恩師たちも、そうやって私の頭の中にいつか呼び起こすかもしれない置き土産をしてくれたのかなど。不要なものなどなく、全て自分に還元される記憶として残っている、そんな気がします。私の置き土産もいつかどこかで開くことがあればいいなと思いました。

最後になりましたが、この場を借りてお礼申し上げたいです。センターを支えている役員ならびに保護者の皆様、皆様のサポートのおかげで今年度も楽しく児童5の担任ができました。お忙しい中、たくさんのご協力ありがとうございました。

もし私が世界一のリーダーだたら

松井 理武

もし私が世界一のリーダーだたら、色々な所に行ける飛行機のチケットを買くしたいです。

どうしてかと言うと、私は色々な日本に帰りたいし、色々な国にも行ってみたいからです。日本には、私のおじいちゃんやおばあちゃん、そしていとこたちみんなが、一つの家に住んでいて、私はその家が大好きです。

その家でこたつの中に入ってゆくりしたり、庭をながめたいです。日本以外の国にも色々な味があります。フランス、オーストラリア、アメリカ、イバとエジプトに行きたいです。料金を安くすることによって、世界中の人々が色々な所に行けられて、世界がもっと楽しくなるとおもいます。

いろんな国に行き、その国のぶんかを知りたいです。そのことで人生がゆたかになると思っています。ぜひじつげんさせたいです。

20×20

世界一のリーダーだったら

扇谷 玲良

もし、私が世界一のリーダーだったら、絶

えつ危機（危機）にある動物を助ける活動（活動）をしたいで

す。どうしてかというところ、最後は、人間も絶

えつしてしまふからです。

今世界では、シロナガス鯨（シロナガス鯨）やパンダ（パンダ）などの

動物が減少（減少）しています。鯨（鯨）が死んでしまふ原

因（原因）のひとつは、海に捨てられたゴミをくじら

が食べて病気になるからです。パンダの場合

は、山林の切りひらきで、生息地（生息地）が少なくな

た。ところが関係（関係）しています。他にもたくさんの

動物達（動物達）が困（困）っています。

私は動物も人間も大好きです。だからみん

なご私達（私達）の住む地球もって大事にしまし（しまし）よう。

20×20

もし私が世界一のリーダーだったら	榊原 葉里奈	もし私が世界一のリーダーだったら、世界を	もつとぎれいにしたのです。理由は、世界が	いつもよりきれいになるので、気持ちがいいか	らです。みんなが、ゴミをちゃんとゴミ箱に	入れたりです。また、電車の中はたまに汚ら	し、駅もきたないので、ちゃんと読み終わ	た新聞を、リサイクルに入れてほしいです。	それから歩道はよく犬のふんがそのままに	なっているのかいぬしの人はずっともち	かえります。ほかにもかみ終わったらガムを紙	に包んですてたり、たばこのすいがらむちゃ	んとすりぐらに入れてほしのです。公園	のすなばにねこのふんがよくあります。公園	でねこのふんがあるとかさいしあそべせん	ゲートなどを作ってねこが入らないようにし	ます。	さびごに、木や花をたくさんうえて、きれ	いな町をたくさんめぐりたいです。
------------------	--------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	--------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	----------------------	---------------------	----------------------	-----	---------------------	------------------

20×20



児童部6 江本昌子先生

今年度の児童6は「元気いっぱいクラス」という言葉がまさにぴったりで。第一印象から元気だな、でも何となく落ち着きがないかも？ 元気過ぎてどうなることやらと頭を抱えたこともありましたが、みんなおしゃべりが大好きで、毎回楽しくお話を聞かせてもらいました。明るく、仲がよい生徒達と、子供達を見守ってくださった保護者の皆様に、心より感謝しています。

今年はおみんなの学習意欲を維持させることを課題にした一年でした。特に漢字に苦手意識を持つてしまっている生徒さんも少なく、漢字の読み書きを何とか楽しくできないかと思ひ、漢字クイズやぬりえ、ビンゴゲームを取り入れました。漢字テストはテスト前にみんなで読み方を確認し、時には答えを教え合いながら、満点を取るまで頑張りました。教科書などの読み物は、漢字学習にあまり重点を置かず内容を理解できるように、お話の内容を話し合ったり、比較的短い文章の読解などをやってみました。それから、昨年度も取り扱ったクロスワード、口頭でのなぞなぞや〇×クイズ、知っているなぞなぞを出し合ったりもしました。

また、各行事が大好きなクラスです。保護者の方からも、イベントが好きだ、書道が好きだ、などのご意見をいただき、高度な折り紙工作や、書道の特別授業、他クラスと合同でデイベート大会、かるた、ゲームなどのアクティビティーも行いました。

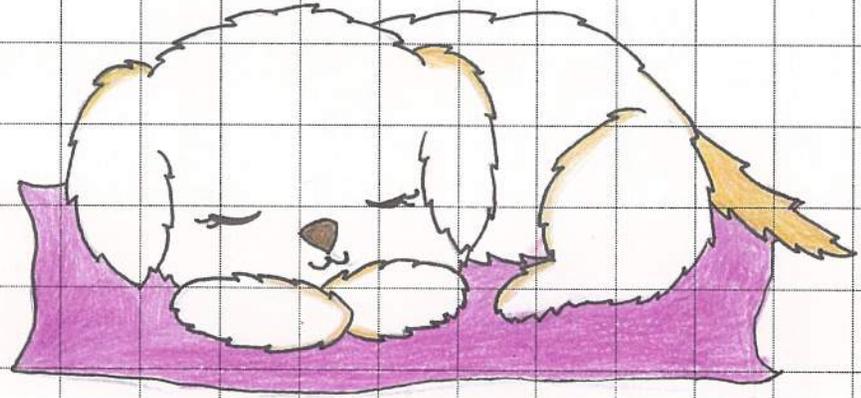
この学年になると、漢字を今まで勉強してきたけれど、あまり身につけていない、という声を耳にします。ある日の授業で黒板に「白鳥」と書き、読み方を質問しました。「しろ？とり？」次の週、もう一度同じ質問をしました。全員が「はくちよう」と読めました。みんな素晴らしい吸収力を持っています。授業や宿題に出てきた言葉を、是非くり返し使ってみてください。

自分の言いたいことをきちんと伝えたい、これもよく聞きます。みんな語彙はとても豊富です。ただそれを順序よく伝えたり、分かりやすい文章にしたり、といったことを少し難しく感じているようでした。その練習として、例えば四コママンガを見てストーリーを考えたり、簡単なテーマに沿った作文、知ってお話を紹介する、イメージしたものを少しずつ文章にしていく、などの課題にも挑戦しました。見事な発想力で、何度も感心させられました。

さて、文集のテーマは例年同様、自由です。自分の好きなことや家族の紹介、今頑張っていることなどを書いてもらいました。みんなしっかりと書いており、個性的な、とてもいい作品に仕上がっています。

最後になりましたが、保護者の皆様、ご家庭でのサポートや授業、各行事へのご協力など、本当にありがとうございます。また役員さん方、同僚の先生方、今年も大変お世話になり、お礼申し上げます。

	ら	い	き	食	い	と	大		す	好	ト	か	ち	リ	ル	け	と		い				
人	め	み	ま	べ	る	か	好	き	。	き	フ	み	。	ま	ワ	ど	プ	き	し	わ			
と	ま	ど	す	こ	と	ど	き	な		な	ー	じ	色	す	ル	、	ー	な	ま	た		わ	
く	せ	す	。	い	走	き	ど	こ		食	ド	か	ど	。	だ	し	ド	こ	す	し		た	
っ	ん	。	食	る	っ	ま	す	は		べ	を	く	す	き	け	っ	ル	は	。	は		し	
つ	。	だ	べ	と	て	す	。	、		も	食	こ	。	な	ど	ほ	の	犬		ペ		の	
い		れ	も	、	き	。	な	お		の	べ	太	も	こ	、	は	ミ	で	ッ			犬	
こ		も	の	き	ま	だ	か	な		は	ま	っ	う	の	と	き	ッ	す		ト		、	
ね		あ	を	な	す	れ	い	か		ピ	す	て	す	目	か	な	ワ	。		の		き	
る		げ	ち	こ	。	か	間	を		ー	か	い	ぐ	の	す	こ	ス	ビ		き		な	
の		な	。	は	い	か	ニ	な		マ	、	ま	五	色	と	色	で	シ		な		こ	
か		い	う	太	す	だ	本	で		ン	わ	す	さ	は	フ	で	す	ヨ		こ		秋	
好		の	だ	も	に	い	足	ら		と	せ	。	い	白	ワ	す	。	ン		を		山	
き		に	い	も	す	ど	ど	れ		リ	ま	ダ	ど	、	フ	。	色	フ		し			
で		、	と	を	わ	こ	立	る		ン	セ	イ	す	く	ワ	毛	は	リ		よ		沙	
す		あ	言	た	っ	ろ	つ	の		ゴ	ん	エ	。	ろ	に	は	白	ー		う		四	
。		き	う	た	て	に	こ	か		で	。	ッ	足	と	な	ワ	だ	ゼ		か			



い あ わ
 く た た
 こ た し
 大 か も
 好 く き
 好 き て な
 ぐ ぐ
 す き と
 。 も く
 ち つ
 が い
 よ て
 く い
 て る
 か と
 わ 、

						が	こ	ま	り	し	と	ほ	い	で		ま	し	小					
						と	こ	と	あ	ま	苦	び	く	ろ	す	練	し	く	さ	ぼ			
						れ	れ	こ	が	あ	ま	が	い		ヨ	た	こ	い	く				
						る	か	も			で	短	好	ろ	大	は			時	は			陸
						よ	ら	も	他	大	あ	き	き	な	会	い		ゆ	に	学			上
						う	も	り	の	会		よ	な	種	が			学	サ	校			部
						に	い	上	学	に	大	り	も	目	月	ど		校	マ	で			
						が		が	校	出	会	で	の	巻	に	よ		で	陸				息
						ん	ば		の	る	で	あ	は	練	ニ	う		が	キ	上			童
						ば	い	こ	生	の	は		走	習	回	の			部				六
						り	練	楽	徒	は	い	ハ	リ	し	ほ	後		こ	ソ	に			
						た	習	し	も	き	つ	一	は	こ	ど			め	ア	入			江
						い	し	い	た	ん	も	ド	ば	い	あ	一		よ	ど				本
						で	こ	で	く	ち	三	ル	と	ま	り	週		こ	や	て			想
						す	メ	す	さ	よ	種	は	び	す	ま	間		と		い			里
							ダ		ん	う	目	す		が	あ	ニ		思	て	ま			夢
						ル		い	し	や	こ	高			回		い	楽	す				

リ	で	に	た	ん	う	木		し	野	気		ニ	こ	ち	た	ク	い						
ま	も	ク	百	こ	も	め	す	私	こ	さ	で	ク	さ	き	ヤ	が	ニ	に	私				
し	ク	ソ	さ	と	そ	ほ	ま	は	い	い		ニ	ん	ま	ん		さ	な	の				
た	ニ	ス	い	が	う	し	こ		ま	を	よ	さ	と	し	と	五	ん	ソ	ひ			私	
。	さ	マ	に	あ	び	を	す	ク	し	つ	く	ん	毎	た	お	年	は	ま	い			の	
あ	ん	ス	な	り	す	食	。	ニ	た	く	食	は	日	。	ば	前		し	お			ひ	
そ	は	か	マ	。	べ	小	さ	。	つ	で		い	だ	あ	に	横	た	ば				い	
う		ら	た	せ	う	こ	さ	ん		こ	こ	百	マ	か	ち	藤	近	。	あ			お	
式	そ	日	ク	ん	め	い	い	の		い		さ	し	ら	マ	沢	の	名	ち			児	ば
で	の	本	ニ	。	ぼ	ま	時	つ		る	う	い	マ	日	ん	に	家	前	マ			童	あ
	三	に	さ		し	す	か	く		ん	ん	に	で	本	の	あ	に	は	ん			六	ち
ク	日	行	ん		を	。	ら	る		の	ど	な	し	に	家	る	住	ク	は				ん
ニ	前	ま	に		お	私	ク	う		お	う	る	た	行	に	私	ん	ニ				小	
さ	に	ま	会		店	の	ニ	め		ま	も	ま	。	く	ひ	の	で	さ	去				野
ん	七	し	う		で	お	さ	ぼ		伝	し	で		と	マ	お	い	ん	年				恵
に	く	た	た		買	母	ん	し		い	こ				こ	じ	ま	で	百				真
た	な	。	め		マ	さ	の	か		も		元		ク	し	い	し	す	。	さ			

																	これ	おく
																	す	さん
																	元	別
																	気	れ
																	そ	し
																	の	お
																	ク	花
																	マ	を
																	ニ	あ
																	い	げ
																	出	て
																	を	、
																	た	家
																	い	ぞ
																	せ	く
																	ク	み
																	に	し
																	か	な
																	し	な
																	た	ぞ
																	た	で
																	い	

く	大		と	え	す	で	し		一	体	ほ	は	大	ン		に	サ	ル	で							
こ	き	そ	が	も	。	、	ま	サ	回	長	に	、	き	ナ	サ	し	い	と	、	あ						
と	く	し	で	の	な	き	す	い	り	は	茶	黄	な	地	い	ま	バ	い	そ	た						
が	、	て	き	に	の	よ	。	バ	大	七	色	色	目	方	バ	し	ル	う	の	し					サ	
で	人	サ	る	近	で	り	ジ	ル	き	ナ	の	で	と	に	ル	た	キ	キ	ア	は					い	バ
き	間	い	の	ご	、	は	ヤ	は	い	セ	シ	茶	耳	住	キ	。	ア	ヤ	ニ	、					バ	
る	か	バ	で	く	そ	四	ン	と	で	ン	マ	色	か	ん	ヤ		シ	ラ	メ	け					ル	
の	き	ゆ	す	こ	の	メ	フ	て	す	キ	シ	の	と	で	ツ		ト	ク	の	も					キ	
で	こ	の	。	と	ツ	い	の	も	。	で	マ	水	く	い	ト		に	タ	中	の					キ	。
す	え	耳		な	ヤ	ト	高	す		、	か	玉	も	る	は		つ	い	に	フ					ツ	
。	な	は		く	ン	ル	き	ご		ペ	ッ	が	よ	猫	ア		い	が	出	レ					ト	
超	い	人		、	フ	を	は	い		ツ	い	あ	う	の	フ		て	好	て	ン						
音	超	間		と	カ	こ	ニ	ジ		ト	て	。	で	種	リ		調	き	く	ズ	滝					
波	音	の		ら	を	え	メ	ヤ		の	い	て	、	る	力		べ	た	る	が	野					
は	波	耳		え	使	て	い	ン		猫	ま	、	そ	い	の		る	か	サ	大	七					
広	を	よ		る	。	い	ト	フ		よ	す	し	の	で	サ		こ	ら	い	好	海					
か	き	り		こ	て	ま	ル	を		り	。	。	体	す	バ		と	、	バ	き						

				年	休	ま	よ		母	の		と	マ	キ		リ	シ			
				後	い	み	せ	う	買	た	て	ぼ	ガ	リ	の	な	オ	チ	ぼ	ぼ
		お		に	ノ	に	ん	ド	つ	ん	せ	く	ガ	オ	戦	せ	オ	て	く	く
		ゆ		は	お	な	〇	リ	て	ガ	っ	の	、	オ	い	な	デ	す	ガ	ガ
		り		お	ゆ	っ	ふ	ル	も	買	た	お	お	デ	て	ら	シ	〇	ほ	ほ
				わ	る	た	ゆ	き	ら	っ	り	父	も	ッ	お	ば	セ	ぼ	し	し
				っ	の	ら	や	や	う	て	に	さ	し	セ	も	ス	イ	く	い	り
				て	ガ	や	す	ら	に	く	買	ん	ろ	イ	レ	プ	き	は	物	物
				い	わ	り	み	な	は	れ	っ	は	そ	は	ろ	ヲ	や	ス	は	
				る	ガ	た	に	い	、	る	て	ゲ	う	ぼ	そ	一	リ	プ	ニ	
				と	ら	り	2	と	30	と	く	一	で	う	う	ッ	た	ラ	ン	
				い	な	と	さ	ガ	さ	思	れ	ム	す	し	た	一	リ	ッ	テ	
				い	い	思	ッ	ッ	ッ	り	ま	ガ	〇	き	ガ	ン	て	一	ン	ハ
				て	げ	い	お	て	の	ま	せ	き		な	ら	2	す	ン	ド	口
				す	ど	ま	ゆ	も	バ	す	ん	ら	ほ	げ	て	は	〇	二	一	大
				〇	、	す	り	ら	ん	〇	〇	い		る	す	ハ		と	ス	き
					一	〇	て	い	き		お	な		の	〇	ン		マ	イ	

行	ム	ゴ	ま	た	は	も	な	ん	ご	な	き	行	そ					
で	た	は	の	ま	ち	長	し	で	ぶ	あ	は	か	先	の	き			
した	た	今	日	り	ぼ	か	ま	ク	ろ	と	は	ま	時	よ				
た。	あ	ま	に	よ	く	し	イ	ツ	に	ホ	こ	た	日	に	ね			し
	思	食	べ	お	せ	ソ		イ	入	ル	楽	あ	で	小	の			う
	い	べ	た	か	つ	ト	ご	せ	ふ	も	れ	も	し	が	し	お	学	夏
	出	た	ぼ	ら	明	ご	もん	ざ	楽	ま	か	か	雨	た	母	校	に	り
	が	中	く	な	ち	女	気	上	け	し	し	し	の	の	き	の	日	サ
	出	で	場	か	聞	百	持	ヶ	た	か	た	き	た	中	天	ん	し	本
	来	一	の	い	東	ち	原	い		リ		の	気	の	か	へ	フ	
	て	ば	ソ	た	こ	照	よ	の	た	伎	み	バ	は	時	う	行	フ	
	楽	ん	フ	ご	い	官	が	ハ	ま	で	の	た	い	女	と	学	き	
	し	お	ト	あ	た	も	イ	く	す	ナ	い	べ	ま	回	り	ま	フ	
	い	い	ク	け	行	た	キ	ろ	イ	ご		リ	じ	よ	し			
	り	し	リ	さ	ど	ま	ご	ん	な	み	ト	ろ	キ	よ	で	行	た	
	よ	が	い	い	し	あ	ダ	げ	ん	ウ	て	ユ	く	行	に		渡	
																	洋	



中高等部



中高等部 | 松田智子先生

中 高 等 部 の 授 業 と な る と 、 内 容 が 今 ま で の	し よ う 。	本 語 に 触 れ ら れ て 、 い い 刺 激 を 受 け た こ と で	ク イ ズ や ゲ ー ム 、 知 識 な ど 、 い ろ ん な 形 で 日	を 発 揮 す る 場 に も な っ た と 思 い ま す 。 ま た 、	い 機 会 に な り 、 そ れ ぞ れ の 生 徒 が 日 本 語 能 力	普 段 あ ま り 多 く は あ り ま せ ん の で 、 と て も い	き ま し た 。 年 齢 の 違 う 生 徒 と の ふ れ あ い は 、	を 合 わ せ て 頑 張 っ た の で 成 功 さ せ る こ と が で	で し た の で 準 備 も 大 変 で し た が 、 み ん な で 力	エ ン テ ー リ ン グ を 行 い ま し た 。 初 め て の 試 み	業 と い う 大 き な プ ロ ジ ェ ク ト に 参 加 し 、 オ リ	そ し て 1 学 期 最 終 日 に は 、 4 ク ラ ス 合 同 授	い て く だ さ い ね 。	み る の も 楽 し い の で 、 是 非 大 切 に 保 管 し て お	ら っ た 新 聞 は 、 時 間 が 経 っ て か ら 読 み 直 し て	と て も 良 い 思 い 出 に な っ た と 思 い ま す 。 へ も	や か に 楽 し く 参 加 し て い る 様 子 を 見 て い て 、	し て 完 成 さ せ ま し た 。 一 つ 一 つ の 過 程 で 、 和	換 を し な が ら そ れ を ま と め 、 原 稿 用 紙 に 清 書
---	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--------------------------------------	--	--	--	--	--	--

20×20

る	い	に	た	で	た	ろ	や	歴	も	ん	簡				り	
奥	で	出	勉	も	く	百	史	楽	な	単	今				が	
深	す	こ	強	け	こ	人	も	し	ア	で	年				え	今
い		れ	し	と	い	一	お	か	ク	し	の				年	
日	こ	も	か	こ	語	と	首	も	ッ	テ	た	日			て	一
本	れ	り	い	こ	な	こ	な	し	た	が	本		ル		年	
語	で	と	も	の	ど	も	ど	ろ	で	ゼ	語		キ	来	の	
を	み	日	た	日	も	勉	も	か	す	テ	ク	学	マ	年	日	
勉	ん	本	も	い	本	お	強	と	ッ	イ	ラ	習			の	本
強	な	語	ッ	と	語	も	に	こ	た	こ	な	ス	は	ア	抱	語
し	と	を	と	思	せ	も	な	も	し	と	ど	で	毎	ス	負	学
て	き	習	じ	い	ン	ろ	り	お	ッ	お	は	の	年	テ		習
い	ら	い	ま	タ	く	ま	も	習	ぎ	と	い	通		イ		を
き	な	た	業	し	こ	し	し	字	や	こ	ろ	り		ン		ふ

こ	と	き	な		み	す	は	す	か	ん	ま	か	た			か	
ん	し	を	い	日	た	。	や	。	ん	勉	し	ん	い	今		え	今
ぐ	こ	と	こ	本	い	ち	く	じ	字	強	た	字	こ	年		。	年
ら	、	り	と	語	と	。	読	。	の	し	け	が	と	、		こ	一
い	き	た	は	セ	思	ん	や	ぎ	ふ	ま	れ	上	を	日		一	年
上	よ	い	、	ン	い	と	る	。	く	せ	ど	手	書	本		来	の
げ	年	で	学	夕	ま	聞	よ	う	し	ん	、	に	き	語		年	日
た	に	す	校	、	す	い	う	の	。	で	か	な	ま	セ		の	本
い	く	。	こ	に	。	こ	に	方	う	し	ん	り	す	ン		抱	語
で	ら	勉	い	か		、	な	は	を	た	字	た	。	夕	秋	負	学
す	べ	強	い	ん		も	り	、	し	。	を	い	き	、	山		習
。	こ	を	せ	け		、	た	も	た	今	せ	と	、	で			を
	、	も	い	い		と	い	、	い	年	ん	思	年	や	勉		ふ
	十	、	せ	が		読	で	と	で	は	せ	い	、	り			り

						た		で	い	ぬ	が		け	も	ル	し	
						°	二	す	せ	る	上	せ	に	い	い	た	夏
							千	°	き	よ	手	ん	登	ま	じ	い	休
							十		を	う	に	が	り	す	よ	と	み
							ハ		と	に	な	を	た	°	う	思	は
							年		’	な	り	ま	い	で	の	い	日
							に		こ	り	た	と	で	き	山	ま	本
							し		’	た	い	や	す	れ	を	す	へ
							た		登	い	し	た	°	ば	登	°	行
							い		山	し	’	り		’	り	三	’
							こ		を	’	ば	’		や	た	千	て
							と		し	い	や	か		り	い	七	登
							で		た	い	く	ん		が	と	一	山
							し		い	せ	読	字		た	思	ト	を

秋山 栄か

			お	×		か	で	し	日	夏	を	の			か	う
			も	で	今	つ	ま	た	本	月	休	通	授	法	え	今
			い	日	年	た	な	り	の	半	み	し	業	年	年	年
			ま	本	も	で	ん	し	テ	に	こ	一			こ	一
			ま	語	日	ま	だ	あ	し	日	日	宿	僕		来	年
			の	本	の	こ	し	て	本	本	本	題	は		年	の
			勉	語		と	た	を	の	に	語				の	日
			強	セ		は	。見	家	帰	を	ア	日			抱	本
			を	ン		と	日	た	族	り	学	ニ	本		負	語
			続	夕		こ	本	り	と	ま	ひ	×	語	岩	し	学
			け	い		も	で	費	話	し	ま	や	セ	本		習
			た	カ		お	の	い	し	た	し	マ	ン	晃		を
			い	ア		お	端	物	た	。た	ン	夕	雄			ふ
			と	に		ま	在	を	り	一	。が	少				り

年	で	手	た	げ	な	べ	本	た	も	こ	し	た			り		
	い	紙	。	あ	く	ま	で	。	喜	、	と	た	。	今		か	
私	る	を	日	ち	こ	し	い	夏	び	祖	で	。	週	年	え	今	
は	家	書	本	。	も	た	ろ	に	も	父	す	一	に		っ	年	
日	族	さ	に	ん	、	。	ん	日	し	母	。	ば	一	私	こ	一	
本	に	ま	い	と	毎	日	な	本	こ	に	筆	ん	か	は		年	
語	も	し	る	日	日	本	レ	に	、	贈	ペ	好	い	筆		来	の
で	会	た	間	本	お	の	ス	行	返	り	ン	な		道	年	日	
べ	い	。	、	語	い	学	ト	き	事	ま	で	こ	教	を	の	本	
ビ	ま	日	い	を	い	校	ラ	ま	を	し	手	と	空	は	傳	抱	語
、	し	本	と	話	と	に	ン	し	書	た	紙	は	に	い		負	学
ッ	た	で	こ	し	ん	行	ト	た	き	。	を	筆	通	め	麻		習
、	。	住	に	ま	と	っ	で	。	ま	と	書	で	い	ま	耶		を
夕	今	ん	も	し	お	て	食	日	し	こ	い	書	ま	し			ふ

								し	す	ラ		語	本	れ	べ	で	ハ	丨
								み	°	ム	来	、	語	ま	で	言	と	を
								で	自	に	年	両	で	す	丨	え	三	や
								す	分	入	、	方	や	°	シ	な	才	り
								°	で	及	私	も	り	私	°	い	の	ま
									日	こ	は	話	ま	は	夕	言	子	し
									本	と	ツ	し	し	ホ	丨	葉	供	た
									へ	を	°	ま	た	ラ	は	が	子	°
									行	や	イ	し	°	ン	面	あ	時	三
									く	り	カ	た	日	テ	白	り	夕	人
									こ	た	の	°	本	イ	く	ま	、	子
									と	り	プ		語	ア	て	し	日	供
									が	の	口		と	も	も	た	本	、
									楽	で	グ		英	日	疲	°	語	十、

	なら	な	日	に	チ	が	る		い	ん	い	る	る			
今	り	い	い	本	思	ャ	時	日	い	お	る	よ	抱	今		
年	た	自	の	語	ソ	ソ	本	な	話	家	う	負	年		日	
一	い	信	で	を	て	ス	の	内	の	と	し	族	に	は	の	本
年	と	を	英	上	い	が	時	容	テ	思	が	と	な	僕		語
は	思	持	語	手	ま	あ	に	を	し	い	で	も	る	も	の	学
、	ソ	ソ	を	に	し	ま	覚	理	ビ	ま	き	ソ	こ	う	日	習
日	て	て	話	し	た	り	え	解	ア	す	る	と	と	少	本	一
本	い	話	す	ャ	。な	た	で	ニ	。よ	も	で	し	語		今	
の	ま	せ	時	べ	ま	い	言	き	メ	う	ソ	す	会	学	年	
本	す	る	と	る	た	の	葉	る	を		に	と	話	習	山	の
や	。よ	同	自	僕	が	を	の	見		な	た	日	が	に	本	抱
マ		う	じ	信	は	残	使	で	て	る	く	本	で	お		負
ソ		に	く	が	、	念	う	す	い		と	さ	に	き	け	大

し	を	か	か	今	そ	字	事	ク	ふ	か	年	ク	も	本			
た	色	ら	き	年	れ	が	は	ラ	ん	げ	生	ラ	楽	語	ぼ		
	々	が	ま	は	が	一	習	ス	い	で	の	ス	し	セ	く		二
な	読	ん	し	三		回	字	で	き	今	二	の	か	ッ	は		千
ぜ	め	ば	た	回	書	し	で	一	に	年	人	人	ッ	タ			十
な	る	り		ぐ	き	か	す	番	な	と	も	達	た	一	今	遼	八
ら	と	日	ぼ	ら	初	あ		楽	り	は	い	だ	で	で	年	真	年
日	良	本	く	い	め	り	な	し	ま	ぜ	ま	け	す	の	二		の
本	い	語	が	や	で	ま	ぜ	い	し	ん	し	で		日	〇	ム	日
へ	な	学	二	ら	し	せ	な	な	た	ぜ	た	は	と	々	十	レ	本
	と	習	〇	せ	た	ん	ら	と		ん		な	く	が	七	イ	語
行	思	は	十	て		で	前	思	ぼ	ち	そ	く	に		年	テ	学
ッ	い	漢	八	い	で	し	は	ッ	く	が	の		昔	と	の	イ	習
た	ま	字	年	た	も	た	習	た	か	う	お	五	の	て	日		

													ま	○	よ	そ	時
													す	十	う	れ	色
														八	に	で	々
														年	し	も	な
														も	た	所	
														が	い	と	に
														ん	と	り	漢
														ば	思	っ	字
														り	り	ば	が
														た	ま	い	あ
														い	し	読	り
														と	た	め	ま
														思		れ	し
														い	二	る	た。



- 79い
1. 日本人のしらす
日本の習慣
わづか
(タレントのもの)
 2. 日本人の知識
 3. クイズ(ど
あるある)
 4. 早おしクイズ

中高等部2 有本明子先生

昨年文集の作文を書いた時に「到達目標は楽しんで日本文化に触れる」ことと書きました。今年度もその気持ちは変わらず、生徒たちがどのようなように日本語、日本文化に関わると楽しめるかということに常に意識して授業に臨みました。

日本文化でまず思い浮かぶのは、お寿司に代表される食文化です。授業で「食」が話題にのぼると、みんなとてもよく発言してくれます。食べることに興味があるのは人間当然のことですし、センターに來ている生徒たちは、ふだんから和食を口にする機会に恵まれているのだと思います。すべて保護者の方の努力の賜物でしょう。しかし、和食も伝統的なものだけでなく、カツ丼やカレーうどんなど、私たちは外国からやってきたものを取り入れながら変化させて、「和食」として楽しんでいきます。

また、日本文化というと伝統的なことを思い浮かべますが、昨今注目されているアニメなどのサブカルチャーも重要だと思えます。私は幼い頃、本は横に置いてテレビでアニメばかり夢中で見ていました。そこになんとなく後ろめたい気持ちがあったのも事実ですが、私の何時間にもおよぶ視聴時間をよしとするわけではないのですが、やはり日本のアニメは魅力的で、いま世界に発信されています。生徒たちやアニメファンに聞くと、本当によく知っています。

何が言いたいのかというところ、日本文化は伝統的なものだけでなく、進化しているものも含めて日本文化として受け入れられているということ。私が担当する中高等部の生徒たちは新しいものに敏感で、伝統的なものと同時に、進化していく日本文化も見たいという欲求があるように思います。じっさい、この変化を楽しむということは江戸時代にも行われていて、人々は平安時代の文芸を茶化したり、もじったりしながら、当時の新しい絵画である浮世絵などに表して楽しんでたといいます。私たちの大好きなカツ井やカレー

海外で生活していると、浦島太郎、花子になりがちです。私は生徒たちのように敏感に新しいものをキャッチする力はありませんし、少々苦手でもあります。しかし、柔軟に変化を受け入れていく姿勢は忘れず、私自身も日本文化を楽しんでいきたいと思っています。この春は、多くの生徒が卒業しますね。センターを離れても、ここで培ったことを土台にして、これまで通り、また新しいものを発見しながら日本の文化と関わり続けてくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、役員の皆様、先生方には多くのサポートをいただきました。お礼を申し上げます。

一 枚目

楽	サ	ま	ち	も	。さ	、	十	ギ	な	が	。ま	き	&	す	。寝	題			
し	ー	し	と	楽	私	人	難	三	タ	ク	あ	例	す	で	B	。私	る	を	私
ん	ト	た	い	し	は	し	し	オ	ー	ラ	り	え	。す	、	例	は	前	し	の
で	を	。っ	ん	す	た	か	の	を	ス	ま	は	私	。A	え	い	に	て	一	
い	い	友	し	で	ご	ら	っ	と	弾	で	す	、	は	私	L	は	る	い	い
ま	っ	達	よ	い	く	、	た	き	い	す	。学	ギ	の	T	、	い	つ	る	大
し	も	と	に	ま	上	も	で	に	て	。そ	校	タ	好	E	ポ	る	も	時	き
た	し	モ	、	す	手	っ	す	、	、	家	の	に	ー	き	R	ッ	な	、	、
。て	ン	合	。い	と	。始	歌	に	科	ミ	を	な	N	プ	種	音	ン	興		っ
	い	ト	唱	小	ヤ	簡	で	め	を	い	目	。弾	歌	A	、	類	楽	ヤ	味
	ま	り	の	学	な	単	も	ま	歌	る	は	ー	く	手	T	カ	の	を	ワ
	し	オ	ク	生	い	に	、	し	い	時	私	ヅ	の	は	I	ン	音	聞	ー
	た	ー	ル	の	け	な	練	た	ま	に	の	ッ	が	い	V	ト	楽	い	に
	。ル	ー	時	ど	り	習	。す	、	一	ク	好	っ	E	リ	が	て	い	で	ー
	す	で	プ	、	、	ま	を	最	。い	番	の	き	は	が	ー	好	い	る	す
	ご	コ	に	友	い	した	初	私	っ	好	科	で	い	大	、	き	ま	時	。美
	く	ン	い	だ	っ	た	く	は	が	も	き	目	す	い	好	R	で	す	、
																			宿

な	時	て	充	ん	事	に	新	ん	あ	め	ち	き	を	を	い	係	そ	な	ボ			
か	は	ま	す	も	を	な	し	を	る	た	ま	や	始	う	の	し	る	ラ	私			
っ		す	る	話	疫	り	い	手	病	の	し	勉	る	め	環	仕	し	こ	ン	は		今
に	本		こ	し	す	ま	病	伝	院	は	に	強	し	ま	境	事		も	テ	今		
の	当	ボ	も	に	仕	し	院	う	で	去		に		し	に	で	将	も	イ	一		興
で	に	ラ	な	リ	事	た	で	仕	自	年	本	な	い	た	な	す	来	か	ア	番		味
す	に	ン	で		や		ボ	事	分	で	格	る	ろ		れ		に	助	で	興		も
か	す	テ		ゴ		去	ラ	を	で	レ	的	し	ん	あ	る	に	や	け	す	味		も
	か	い	ム	家	年	ン	し	食	た	に	思	な	も	た	か	リ	る		も			っ
病	っ	ア	ろ	手	族	も	テ	て	べ		ボ	っ	人	は	め	ら	た	こ	昔	持	マ	て
院	し	を	ん	袋	か	違	い	ま	ら	学	ラ	た	も		に		い	も	か	っ	イ	い
の	る	最	な	も	い	っ	ア	し	れ	校	ン	の	関	ボ	ボ	今	こ	か	ら	て	了	る
看	の	初	仕	マ	な	て	を	た	な	の	テ	で	わ	ラ	ラ	か	も	好		い	入	こ
護	か	に	事	ス	い	今	す		い	も	い	興	る	ン	ン	ら	か	ま	人	る	伊	し
師	分	始	を	ク	患	年	る	今	患	な	ア	味	こ	テ	テ	も	病	で	の	事	藤	
や	か	め	や	を	者	は	こ	年	者	り	を	を	も	い	い	も	院	し	力	は	弓	
患	ら	に	っ	補	た	食	も	は	た	に	始	持	で	ア	ア	う	関	た				

で	い	味	テ	苦	い	で	持	マ	と	部	ン			き	子	一	い	J	V	も	し	者	
、	ろ	を	イ	手	ニ	は	ッ	ッ	思	ガ	ス	私		に	供	祭	者	し	U	に	ッ	で	さ
動	ん	持	ア	で	ン	な	て	て	い	あ	ド	が		ら	に	に	思	S	い	し	も	ん	
き	な	ッ	に	し	グ	く	い	、	ま	る	す	も		嬉	ち	遊	い	T	し	頑	か	に	
だ	種	こ	な	に	も	、	ま	今	し	こ	、	う		し	の	ん	ま	I	思	張	に	感	
け	類	し	れ	け	や	筋	す	も	た	し	高	一		い	病	だ	す	N	え	、	な	謝	
ド	が	が	し	じ	、	肉	、	、	を	校	フ			ド	院	リ	、	E	ま	て	、	の	
感	あ	で	、	ダ	て	や	ダ	年	を	知	に	興		す	生	す	そ	で	し	看	て	気	
小	情	、	き	ト	ン	ま	腹	ン	に	の	、	入	味		、	活	る	こ	ボ	に	護	る	持
を	て	ま	レ	入	す	筋	ス	、	時	て	、	を			が	事	で	ラ	、	師	事	ち	
伝	、	し	一	の	、	が	で	て	か	、	に	持			少	を	、	ン	来	さ	に	を	
え	じ	に	ニ	お	前	い	は	も	ら	試	時	、			し	し	病	テ	年	ん	嬉	表	
る	れ	、	ン	か	は	る	踊	ま	ダ	し	に	て			で	に	気	、	は	の	し	さ	
事	で	ダ	グ	が	動	の	る	び	ン	て	、	る			も	い	の	了	、	手	く	れ	
が	も	ン	に	で	く	で	事	興	ス	み	ダ	事			楽	で	子	を	、	伝	感	て	
す	素	ス	も	ア	の	ト	た	味	に	よ	ン	は			に	す	供	し	、	い	じ	、	
じ	敵	は	興	ク	が	レ	け	を	ハ	う	ス	ダ			で	、	し	に	ト	も	て	少	

																見	そ	時	一	の	ま	き	い
																に	の	間	つ	動	し	で	と
																い	こ	も	の	き	た	誰	思
																し	に	練	動	に	。	か	っ
																思	わ	習	き	テ	そ	に	て
																っ	り	を	を	ク	し	何	、
																に	が	し	完	=	て	か	自
																の	う	な	壁	ッ	ダ	も	分
																で	ご	け	に	ク	ン	感	も
																あ	い	れ	す	が	入	じ	謀
																。	し	ば	る	あ	に	た	に
																	思	い	に	り	は	せ	け
																	っ	け	ぬ	ま	、	に	で
																	て	ま	に	す	一	い	は
																	や	せ	は	。	っ	し	な
																	っ	ん	、	そ	一	思	く
																	て	。	何	の	っ	い	動

二枚目

に	が	実	バ	戦	せ	味	一	な	夕	を	て	し	て	つ	い	で	て	自	ま				
つ	り	家	一	し	い	は	キ	い	く	お	い	て	く	ぎ	し	し	料	分	す	ほ			
れ	を	で	グ	て	で	ベ	は	た	の	い	ま	み	れ	の	く	た	理	は		く			今
	作	食		み	最	一	外	ろ	人	し	し	ま	た	日	す		に	料	そ	は			
料	く	ベ	ギ	ま	悪	キ	側	う	が	く	た	し	パ	の	ろ	こ	興	理	の	今			興
理		た		し	で	ン	は		で	す		た	ン	朝	の	の	味	を	中	色			味
へ	た	モ	ウ	た	し	グ	黒	結	き	る	モ		ケ		が	頃	を	選	び	々			を
の	り	キ	ガ		た	パ	く	果	る	プ	し	こ	一	ほ	料	ほ	モ	び	一	な			も
疑	し	モ		た		ウ		で	の	ロ	モ	の	キ	く	理	く		ま	つ	物	ム		
問	ま		ほ	と	ほ	ダ	内	き	な	セ	料	時	を	は	た	は	た	す	選	に	し		て
が	し	チ	か	え	か	一	側	あ	ら	ス	理	ほ	作	よ	と	食	の		ふ	興	イ		い
増	た		に	ば	の	を	は	が	難	で	は	く	く	く	思	べ	は	ほ	と	味	テ		る
え		パ	モ	ピ	料	い	生		し	こ	た	は	る	母		物	十	く	す	を			こ
て	時	テ	よ	ザ	理	れ		た	い	ん	た	こ	の	が	て	を	二	か	る	モ			龍
い	が		く		に	す	ほ	パ	わ	な	食	う	に	作	ま	よ	才	は	な				耶
き	た		父	ハ	モ	ぎ	く	ン	け	に	べ	思	挑	く	し	リ	の	じ	ら	て			
ま	つ	ウ	の	ン	挑	た		ケ	が	モ	物		戦		た	お	頃	ぬ					

			夕	要	切	ぶ	た	所	一	ま	を	の	番	を	い	つ	え	い	る	料	し	
			く	素	禁	た	と		つ	ず	す	番	と	組	に	け	て	の	国	理	に	
			の	の	止	肉	え	文	の	こ	ば	組	見	が	題	ト	た	い	た	で	に	
			数	お	さ		ば	化	国	の	や	は	こ	と	名	キ	り	ま	る	は	ち	
			の	か	れ	ア	イ		の	ト	く	ぼ	い	て	は	ち	し	う	食	か	た	
			料	げ	て	ル	ズ	宗	食	モ	丁	く	た	モ	覚	メ	よ	た		ベ	いと	
			理	で	い	コ	ラ	教	ベ	寧	が	と	面	え	フ	う		な	る	か	ば	
			か	世	ま	ム	で	物	メ	に	ず	た	白	ア	夕	と	あ	と	物	あ	な	
			あ	の	す	ル	教	き	と	フ	説	け	く	い	リ	料	る	の	を	る	せ	
			る	中	な	の	ま	料	夕	明	と	覚	て	な	一	理	日	し	こ	の	隣	
			の	に	こ	ど	強	る	理	リ	し	考	え	と	い	が	に	ぼ	つ	の	に	の
			で	こ	う	の	い	こ	は	一	て	え	て	こ	け	映	つ	く	閉	国	る	国
			す	ん	い	食	国	と	そ	に	い	て	い	も	れ		い	が	の	で	う	ど
			な	う	ベ	と	が	の	よ	ま	い	ま	長	ど	て	て	テ	こ	は		う	
			に	様	物	か	夕	国	る	し	た	す	い		い	語	レ	と	食	な	し	
			も	々	は	で	い	の	と	た	疑		間	こ	ま		ビ	を	ハ	せ	で	
			の	な	一	は		場			閉	こ	ず	の	し	て	を	考	な	あ	も	

出	て	す	わ	ち	に	の	で	入	こ	こ	じ	自	た	こ	行	と	た	い	興				
来	な	。な	で	行	か	す	り	ど	か	つ	分	か	と	す	か	も	た	味	今				
ま	い	今	い	す	き	よ	。た	の	無	は	は	。も	る	は	。か	た							今
せ	け	は	未	。た	く	け	い	ヒ	い	僕	何	た	楽	と	ど	こ	。い	興					
ん	ど	毎	来	ど	い	分	れ	の	ジ	の	は	に	ら	し	か	ち	い	た	。味				興
。こ	日	の	の	の	か	ど	か	。で	本	興	で	い		ら	ま	ら	は	た					味
け	ん	生	よ	方	か	ら	も	選	ブ	す	当	味	き	と	新	も	す	。い	も				た
れ	な	き	う	向	分	な	。ば	の	。に	た	る	思	し	楽	。色	持	。も						も
ど	生	こ	な	た	か	い	何	な	。今	興	も	け	い	い	し	ス	ん	。こ					こ
も	き	明	気	向	ら	ど	た	け	ど	。味	。ど	ま	場	い	キ	な	こ	い					こ
明	方	日	か	い	な	す	し	れ	の	中	た	こ	。す	所	と	。ス	い	る	山				い
日	は	の	し	こ	い	。た	ば	ブ	学	も	い	本	。の	思	と	ホ	ま	事	城				る
か	い	事	こ	も	難	人	ほ	な	口	校	。る	当	も	探	い	か	。す	。丈	事				事
よ	つ	た	辛	。し	生	う	ら	グ	た	こ	の	の	。検	ま	サ	ツ	。も	惠					
く	ま	気	い	僕	い	に	か	な	ラ	終	い	か	質	と	た	す	。に	少	ち	琉			
分	で	に	の	に	気	ど	い	い	ム	わ	る	で	問	言	す	。力	興	し	ろ				
か	も	し	で	合	持	こ	い	の	に	。こ	す	は	い	る	旅	。味	言	ん					

の	未	い	れ	け	幸	か	で	的	出	の	た	う	し	た	み	り	明	こ	来	た	ら
で	来	こ	か	人	な	福	と	す	を	来	キ	時	な	た	め	ま	日	も	か	ら	な
す	は	る	楽	生	い	を	こ	は	ま	ヤ	時	に	し	す	を	分	楽	か			
不	こ	し	は	え	も	最	た	せ	ラ	子	彼	け	努	た	見	ギ	か	し			
明	き	い	難	る	大	後	す	ん	ク	供	れ	れ	カ	去	つ	ブ	く	た			
か	に	こ	し	と	た	切	に	た	で	夕	た	の	ど	し	二	年	け	ア	こ	な	ら
も	見	と	い	言	め	た	め	し	一	ち	好	も	こ	の	る	づ	な	う			
し	つ	で	か	い	に	こ	こ	の	た	は	か	き	た	本	こ	こ	ブ	く	な	未	来
れ	か	す	も	ま	は	思	の	努	幸	も	な	彼	キ	に	こ	し	こ	い	来		
な	る	し	し	汗	い	人	カ	実	せ	う	人	れ	毎	こ	は	た	も	の	か		
い	の	本	れ	た	を	ま	物	か	際	を	成	か	の	ラ	日	も	素	い	で	ぼ	
け	で	当	な	か	す	か	幸	に	見	人	皆	人	ク	幸	面	晴	時	難	し	ん	
ど	す	の	い	か	言	せ	は	つ	し	ん	生	夕	せ	白	う	か	し	よ	や		
構	幸	け	な	た	だ	け	た	な	終	の	い	し	あ	い	う	り					
わ	た	せ	ど	い	本	た	こ	ろ	時	亡	わ	か	追	本	い	時	か	し			
な	か	は		と	当	こ	た	の	事	く	り	い	求	を	と	こ	か	こ			
い	ら	働	こ	い	の	と	の	目	か	こ	な	そ	ま	の	読	思	も	あ	未	い	

山城大直心珠

み	は	あ	違	か	イ	と	口	ク	れ	の	ま	ま	こ	い	は	書	ク					
は	今	一	り	う	ら	ル	鹿	リ	ど	ダ	す	し	こ	ま	毎	い	ル	私				
ク	年	番	ま	国	子	ナ	の	ア	ス	も	ノ	た	の	す	年	た	ミ	の		今		
ル	い	せ	の	供	ノ	に	が	の	マ	サ	グ	ク	プ	バ	割	今						
ミ	私	い	ん	ク	の	受	で	踊	ス	子	ノ	今	ル	フ	ラ	レ	リ	の		興		
割	は	の	ル	出	ノ	か	き	リ	・	供	ガ	ノ	ま	ミ	ス	工	人	興		味		
り	大	た	た	ミ	番	ウ	ら	ま	パ	は	主	・	で	割	ル	・	で	形	味	を		
人	ね	と	が	割	が	は	な	す	大	ノ	オ	要	バ	リ	ナ	デ	す	は	は	も		
形	ず	思	ら	り	た	子	い	ね	テ	リ	な	し	五	人	ノ	・	チ	ク				
の	み	い	モ	人	く	供	と	け	ず	イ	工	登	イ	十	形	・	ア	モ	ル	て		
悪	で	ま	ノ	形	さ	が	で	れ	み	ノ	場	・	一	の	ノ	ノ	イ	ミ		い		
者	し	す	ト	は	ん	大	き	ど	と	の	夕	人	カ	年	振	ウ	ト	ト	コ	割	土	る
で	た		り	子	有	好	ま	も	ね	子	ル	物	ナ	間	リ	と	で	リ	フ	リ	屋	こ
す		オ	供	り	き	せ	ず	供	の	で	テ	ヤ	付	言	上	オ	ス	人				と
	大	ノ	の	また	ん	オ	み	た	踊	す	イ	け	う	演	ノ	キ	形	玲				
毎	ね	ル	役	す	テ	ち	り	ア	て	を	人	し	ル	ノ	で	愛						
週	ず	の	は	た	フ	羊	け	ノ	い	し	が	て	で	が	す							

が	を		る	て	職	医	の	ま		壊	え	酪	た	違	表		は	番	新				
興	持	こ	と	く	業	者	破	で	こ	と	て	農	と	う	わ	こ		組	し	私			
味		の	わ	れ	せ		壊	見	れ	れ	く	場	え	農	し	の		を	く	が			今
を	て	番	か	ま	ん	弁	を	た	に	て	れ	で	ば	業	て	番	の	見	ネ	今			
持	い	組	り	し	せ	護	見	番	興	る	ま	お	一	の	い	組	の	る	ツ				興
	な	は	ま	た	ん	士	せ	組	味	か	す	き	話	種	る	は	+	こ	ト	興			味
て	く		し		も	学	て	と	を	も		た	は	類	番		+	と	フ	味			を
見	て	農	た	農		校	く	違	持	話	食	犯	酪	の	組	農	の	で	り	を			も
れ	も	業		業	と	の	れ			し	品	罪	農	こ	で	業	の	す	ツ	も	ラ		
る	中	や		に	あ	中	ま	て	て	ま	魚	の	場	と	す	の	残	で	ク		ツ	て	
番	二	食		も	る	で	す	食	い	す	介	話	の	話		残	で	そ	ス	て	チ	い	
組	か	の		色	と	教		品	る		が	の	残	し	一	こ	す	の	で	い	マ	る	
だ	か	政		夕	目	え	私	魚	理		と	こ	酪	て	話	く		番		る	ソ	こ	
と	大	策		な	を	て	に	介	由		ん	と	な	い	一	な		組	出	こ		と	
思	人	に		職	開	く	先	の	は		な	を	事	ま	話	事		の	て	と	瑛		
い	ま	興		が	か	れ	生	本			に	お	実	す	が	実		題	来	は	美		
ま	で	味		あ	せ	る		当	今		破	し	や					名	た				

た。

				い	ス	は	ん	か	音	い	て	し	で	の	す	思	ら	唱	り				
				で	ペ	と	な	む	が	ま	く	い		曲	。	い	っ	で	ま	今			
				す	イ	こ	ご	ず	高	バ	れ	で	全	を	学	ま	て	す	す				
				。	ン	も	う	か	す	ス	る	す	部	歌	校	す		。	。	私	興		
				語	気	ま	し	ぎ	の	の	。	の	い	の	。	な	な	学	に	味			
				で	も	く	い	て	パ	で	じ	歌	ま	コ	家	か	ぜ	校	と	を			
					ち	ハ	で		。	。	。	か	詞	す	。	で	な	な	で				も
				レ	が	。	。	。	声	ト	ヤ	し	を	。	ラ	も	が	ら	も	て			っ
				ゲ	い	モ	。	。	が	を	る		。	お	歌	ス	歌	上	小	一	。	鈴	て
				ト	り	ニ	友	で	歌	気	先	ぼ	は	で	の	達	学	番	歌	木	い		
				ン	で	。	た	に		っ	が	生	え		は	練	し	校	す	が			る
				を	す	で	ち	く	こ	で	が	る	ラ		。	習	た	三	き	一	カ	こ	
				歌	。	歌	や	く	い	ま	楽	の	テ	ク	を	と	年	が	番	ミ	と		
					っ	え	先		。	ま	す	し	が	ソ	ラ	し	自	生	も	興	。		
				て	ぎ	た	生	な	す	。	く	む	語	ッ	て	分	か	く	味	口			
				み	は	こ	こ	か	が	私	教	ず	な	ッ	い	で	ら	は	が				
				た	。	き	み	な		。	は	え	か	の	ク	ま	も	な	合	あ			

し	そ	光	さ	術	り	そ	色	ど	シ	ロ		々	ロ	ニ	人	て	メ	画	覚			
ま	の	の	は	が		れ	人	多	ユ	マ	芸	な	ギ	ケ	類	も	ツ	像	芸	私		
す	絵	遊	時	現	新	ぞ	な	く	一	フ	術	理	一	一	が	面	セ	だ	術	が		私
。	画	び	代	れ	し	れ	流	の	ル	主	の	由	を	シ	昔	白	一	け	で	今		が
こ	は		の	ま	い	の	れ	流	レ	義	歴	で	人	ヨ	か	い	ジ	で	す	興		今
の	感	絵	芸	す	流	動	が	れ	ア		史	芸	々	フ	ら	と	や	人		味		興
理	覚	画	術		れ	さ	と	に	リ	印	は	術	に	や	し	思	感	に	な	を		味
由	や	の	を	例	が	が	て	分	ズ	象		は	伝	ア	ア	う	情	色	ゼ	持		を
で	印	動	大	え	登	時	も	か	ム	派	バ	支	え	一	い	か	を	ん	か			持
	象	さ	さ	ば	場	代	面	れ			ロ	え	る	テ	る	ら	届	な	と	て		?
印	を	が	く	印	す	の	白	て	ポ	キ		ツ	ら	こ	イ	こ	で	け	こ	言	い	て
象	制	ポ	革	象	る	ト	い	い	ツ	ユ	ク	れ	と	ス	と	す	ら	と	う	る		い
派	限	イ	新	派	と	レ	と	ま	プ	一		て		ト	で		れ	を	と	こ		る
の	し	フ	し		新	フ	思	す	ア	ビ	ロ	い	今	の		さ	る	考		と	駒	こ
作	よ	ト		こ	し	ド	い		一	ズ	コ	ま	ま	イ	コ	ら	の	え	芸	は	井	と
品	う	で	色	の	い	に	ま	こ	ト	ム	コ	し	で	テ	ミ	に	が	さ	術			
は	と	す	彩	動	美	な	す	の	な			た	様	オ	ユ		と	せ	は	視	空	

	に	間	止	し	う	場	な	っ	て	い	た	ま	み	を	ま	兄	る	ラ				
日	作	が	め	く	と	合	い	ち	い	る	し	ま	見	し	の	も	マ	私				
本	る	な	う	な	は	と	ま	た	そ	て	し	た	た	え	の	ヤ	が					今
の	よ	い	れ	る	そ	と	す	め	し	た	く	い	き	バ	今							
テ	う	と	な	の	の	一	言	と	こ	ど	な	し	ぎ	観	ラ	ー						興
し	た	き	い	で	も	度	日	そ	毎	今	ん	そ	リ	か	る	工	番					味
び	し	は	の	日	の	何	こ	本	の	日	は	ど	の	し	う	こ	テ	興				き
た	こ	な	び	本	を	か	い	の	せ	の	ん	同	日	で	と	い	を					も
け	い	る	す	の	嫌	を	ま	テ	い	よ	同	好	時	本	母	ケ	で	い	も			
で	ま	べ	テ	い	好	す	し	び	う	じ	き	に	の	が	い	す	番					こ
は	す	く	た	し	に	き	こ	に	番	に	私	テ	日	ム	組	て						小
な	テ	か	こ	な	に	し	を	母	テ	組	お	も	し	本	に	+	い					林
く	し	ら	を	る	な	か	観	が	し	を	見	び	の	は	五	日	る					こ
	び	観	の	し	ち	い	こ	毎	こ	た	を	ニ	ま	歳	本	こ						百
映	の	観	る	か	こ	ぎ	つ	を	週	さ	く	申	ま	に	と							合
画	た	る	の	難	し	私	じ	も	つ	観	ま	お	し	て	こ	関	は					子
も	め	時	が	か	ま	の	け	こ	し	り	込	ス	い	は	す	ド						

日	こ	も	う	由	の	い	が	し		が	休	で	見	い	バ	か	忘	か	は	う	バ	よ
本		ド	と	で	こ	ま	し	び	母	多	の	映	易	の	ラ	し	れ	か	そ	な	ラ	く
の	も	ラ	母	一	と	す		き	の	い	日	画	い	び	エ	い	る	る	の	の	エ	観
文	マ	は	回	の		私	観	意	の	に	よ	し		テ	と	こ	の	映	き	テ	て	
化	と	ヤ	驚	も	勉	楽	は	か	見	び	は	り		毎	い	き	と	で	画	見	い	
に	勉	バ	い	付	強	し	テ	い	に	す		も	ス	回	い	も	が		の	付	い	
も	強	ラ	て		に	み	し	方	よ		前	ド	ト	連	番	あ	多	観	発	け	番	す
詳	も	エ	い	て	お	な	ど	が	る		年	ラ	い	続	組	り	い	た	売	ま	組	
し	す	テ	ま	い	る	が	は	い	と		の	マ	リ	ド	で	ま	の	か	ま	す	き	ほ
く	る	い	す	か	ら	す	い				ド	の	い	ラ	紹	す	で		で		観	と
お	こ	い		か	ら	日	び	か	あ		う	方	の	マ	介		す	た	に	し	る	ん
り	と	番	た		で	本	く	そ	ま		マ	が	流	も	す	映		映	半	か	と	ど
た	に	組	か	た	す	語	有	う	り		も	好	れ	観	る	画	待	画	年	し	き	の
い	し	を	ら	言		や	益	で	日		観	き	が	こ	こ	み	つ	の	い		に	映
び	ま	観		葉	そ		た	す	本		る	び	長	い	と	た	の	名	ら	こ	画	画
す	し	続	今	を	の	日	と		の		こ	す	い	ま	が	い	か	前	い	こ	白	は
	た	け	後	使	理	本	思	し	テ		と		の	す	多	に	難	き	も	で	そ	

3 枚目

																					い	た
																					と	か
																					思	う
																					い	バ
																					ま	う
																					す	う
																					て	い
																						い
																						い
																						番
																						組
																						に
																						け
																						い
																						飽
																						き
																						な

行	ん	だ	か	う	す	技	べ	い	フ	た	の	で	木	い	で	の	行		
な	の	て	り	が	術	物	全	い	で	す	か	し	す	か	く	私			
て	国	ほ	い	ま	も	シ	も	が	部	の	い	犬	事	か	私				
に	う	ま	す	ミ	も	カ	発	シ	で	そ	カ	自	モ	好	で	今	の		
違	行	か	す	の	と	ニ	ン	ナ	見	す	の	メ	は	然	ン	き	す	興	
う	開	で	進	カ	も	と	ダ	シ	ン	国	ダ	い	カ	ト	で	味	味		
事	て	発	ビ	ん	国	す	進	よ	た	や	食	の	か	あ	モ	リ	レ	小	
を	こ	せ	ル	私	で	に	ご	ん	り	い	ハ	ラ	ら	オ	た	さ	持		
見	ん	れ	カ	た	る	行	く	で	も	の	車	物	イ	出	て	と	し	い	
る	な	て	ち	の	く	か	い	で	や	や	フ	る	キ	ル	今	時	て		
か	違	い	家	か	か	と	わ	ま	と	す	ス	と	緑	れ	ま	で	か	い	
好	う	ま	や	ら	は	か	い	す	美	お	言	タ	が	い	り	も	ら	る	
き	事	す	く	カ	い	味	日	店	語	イ	文	す	と	も	す	夜	事	野	
で	を	道	と	き	ナ	と	日	し	本	と	ヤ	ル	化	こ	思	び	行	は	
す	習	私	も	毎	リ	タ	思	本	い	で	か	建	を	か	く	い	と	く	
い	は	カ	回	と	の	い	の	し	は	か	物	習	違	素	ま	優	好	行	
に	色	ナ	思	分	ほ	ま	フ	食	違	や	い	う	敵	す	し	き	く	に	

					国	く	て	す	か	し	と	ト	だ	一	と	の	テ	ま	こ						
					の	な	く	。	と	て	し	、	ん	番	を	き	ク	す	と						
					料	っ	れ	こ	ス	見	は	ケ	デ	大	習	リ	ニ	。	で	今				今	
					理	た	る	飯	り	た	も	、	ザ	好	い	方	ッ	お	す						
					を	ら	の	を	ラ	い	っ	キ	、	き	ま	ゃ	ク	母	。	興				興	
					食	世	が	っ	ン	と	と	と	ト	で	す	味	を	さ	お	味				味	
					べ	界	一	く	カ	思	あ	マ	を	す	。	付	見	ん	家	が				を	
					て	中	番	っ	料	い	た	フ	っ	。	日	け	せ	ゃ	で	あ				も	
					見	に	う	て	理	ま	ら	ィ	く	お	本	の	て	お	毎	る				っ	
					た	旅	れ	皆	に	す	し	ン	リ	父	料	し	く	郊	週	の				て	
					い	行	し	が	モ	。	い	が	ま	さ	理	方	れ	ち	夜	は				い	
					と	し	い	味	興	ラ	レ	上	す	ん	を	、	ま	ゃ	ご	料	大	る			
					思	て	で	わ	味	テ	ッ	手	。	の	っ	い	す	ん	飯	理	谷	こ		こ	
					い	い	す	っ	が	ン	ピ	で	ビ	所	く	ろ	。	が	を	を				と	
					ま	ろ	。	て	あ	ア	を	す	ス	で	る	ん	ゃ	ふ	っ	っ	実				
					す	ん	大	食	り	メ	た	。	ケ	は	の	な	さ	だ	く	く	蘭				
					。	な	さ	べ	ま	リ	め	こ	ッ	ふ	が	こ	い	ん	り	る					

子供の日





運動会





書初め





おにけさし
まめまき
ふくはうち



節分

